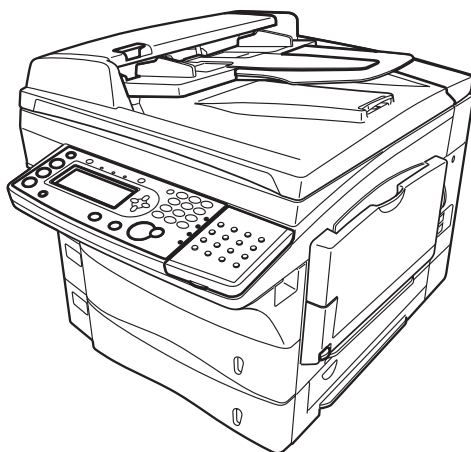


Information server **+Plus II**

ユーザズガイド



本書では、本体で行うネットワークの設定や既存の電子メール環境を利用したファクス通信のしかた、またユーティリティプログラムのインストールのしかたなどを説明しています。
いつも本体の側に置いてください。

はじめに

このたびは "Information server +Plus II " をご購入いただき誠にありがとうございます。
"Information server +Plus II " は、ファクスなどの文書管理をネットワーク上で実現するドキュメントマネジメントシステムです。

本書は "Information server +Plus II " を導入いただいた際の本体設定のしかたやインターネットファクスやスキャン機能の本体操作などについて説明しています。

目次

.....

はじめに	ii
本書のみかた	v
商標について	v

第 1 章 本体の設定..... 1-1

ネットワーク設定	1-3
TCP / IP 設定をする	1-3
MAC アドレスを確認する	1-6
SMB 設定をする	1-7
Ping を実行する	1-8
タイムゾーンを設定する	1-9
サーバーデータを消去する	1-10
機器管理リストをプリントする	1-11
インターネットファクス設定	1-12
メール定型文の初期値を設定する	1-12
添付ファイルのフォーマットの初期値を設定する	1-13
宛先表の優先表示設定をする	1-13
Is+Plus 自動配信 ON / OFF の切り替えをする	1-14
メール機能キーを優先して表示する	1-14
ご愛用スイッチを設定する	1-15
タッチパネルキーを設定する	1-16
Is+Plus 宛先表をプリントする	1-19
ファクス設定リストをプリントする	1-19
ネットワークスキャン設定	1-20
画質・濃度・解像度の初期値を設定する	1-20
スキャンの読取サイズの初期値を設定する	1-21
スキャン文書ファイル形式の初期値を設定する	1-21
分割送信の初期値を設定する	1-22
ご愛用スイッチを設定する	1-22
タッチパネルキーを設定する	1-23
画面自動リセット時間を設定する	1-26
キータッチ音色を設定する	1-27
スキャン禁止の設定をする	1-28
スキャナー設定リストをプリントする	1-28
フォルダー・ショートカットリストをプリントする	1-29
挿入する日付ファイル名の表示形式を設定する	1-30

PC プリント設定	1-31
PC プリント完了音を設定する	1-31
シャットダウン	1-32
シャットダウン操作をする	1-32
ブラウザーから設定する.....	1-33
Information server +Plus II にログインする.....	1-33
Information server +Plus II からログアウトする	1-35

第 2 章 本体の操作.....2-1

インターネットファクス.....	2-2
基本的な送信のしかた.....	2-2
前回送信した宛先を使って送信する	2-14
履歴を使って送信する.....	2-15
ファイル形式を選択して送信する	2-16
大量の文書をページごとに送信する（分割送信）.....	2-17
POP 受信のしかた	2-18
ネットワークスキャン	2-19
スキャン文書を共有フォルダーに保存する	2-19
スキャン文書を電子メール送信する	2-25
スキャン文書を登録ユーザーに転送する	2-33
スキャン文書を掲示板に掲示する	2-35
スキャン文書を回覧／配信する	2-37
スキャン文書を処理依頼する.....	2-40
文書を拡大／縮小してスキャンする	2-42
大量の文書をページごとにスキャンする（分割送信）.....	2-43
ファイル形式を選択してスキャンする.....	2-44

第 3 章 こんなときには.....3-1

エラーメッセージ	3-2
エラーコード	3-3
画面操作上でのトラブル	3-6
プリンターでのトラブル	3-12
『KONICA MINOLTA インフォモニター』でのトラブル	3-14
『KONICA MINOLTA ダウンロードユーティリティ』でのトラブル	3-15
『Is+Plus2 に接続できない』.....	3-16

本書のみかた

・マークについて

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に以下のマークをつけています。

重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

補足

操作の参考情報や補足説明が書かれています。

・キーの表記について

本書では、操作するキーを以下のように表しています。

〈 〉 内には操作パネル上のキー名称が、[] 内にはタッチパネルキー上のキー名称が示されています。

■ 操作パネル上のキー



→ 〈ファクス中止／確認〉 のように 〈 〉 で囲んでいます。

■ タッチパネルキー



→ [確定] のように [] で囲んでいます。

商標について

Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Word® は米国および／または他の国の Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本書の画面で使用している会社名、氏名ほかのデータは、すべて架空のものです。

第 1 章

本体の設定

この章では、Information server +Plus II をご利用いただくためのネットワーク設定、インターネットファクスやネットワークスキャンの初期設定の変更のしかたなどを記載しています。

ネットワーク設定.....	1-3
TCP / IP 設定をする.....	1-3
MAC アドレスを確認する	1-6
SMB 設定をする	1-7
Ping を実行する.....	1-8
タイムゾーンを設定する	1-9
サーバーデータを消去する	1-10
機器管理リストをプリントする	1-11
インターネットファクス設定	1-12
メール定型文の初期値を設定する	1-12
添付ファイルのフォーマットの初期値を設定する	1-13
宛先表の優先表示設定をする.....	1-13
Is+Plus 自動配信 ON / OFF の切り替えをする.....	1-14
メール機能キーを優先して表示する.....	1-14
ご愛用スイッチを設定する	1-15
タッチパネルキーを設定する.....	1-16
Is+Plus 宛先表をプリントする	1-19
ファクス設定リストをプリントする.....	1-19
ネットワークスキャン設定	1-20
画質・濃度・解像度の初期値を設定する	1-20
スキャンの読取サイズの初期値を設定する	1-21
スキャン文書ファイル形式の初期値を設定する	1-21
分割送信の初期値を設定する	1-22
ご愛用スイッチを設定する	1-22
タッチパネルキーを設定する.....	1-23
画面自動リセット時間を設定する	1-26
キータッチ音色を設定する.....	1-27
スキャン禁止の設定をする	1-28
スキャナー設定リストをプリントする.....	1-28
フォルダー・ショートカットリストをプリントする.....	1-29
挿入する日付ファイル名の表示形式を設定する	1-30
PC プリント設定.....	1-31
PC プリント完了音を設定する	1-31

シャットダウン	1-32
シャットダウン操作をする	1-32
ブラウザーから設定する	1-33
Information server +Plus II にログインする	1-33
Information server +Plus II からログアウトする	1-35

ネットワーク設定

TCP / IP 設定をする

Information server +Plus II を使用するコンピューターに接続するためのネットワーク環境を設定します。

重要

IP アドレスの変更は、必ずネットワーク管理者の了承を得てください。不用意に変更すると、ネットワークが正常に機能しなくなる場合があります。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。

補足

Information server +Plus II の“オプション”画面にある“ユーザー情報”で管理者が設定されている場合は、“管理者パスワード”画面が表示されます。

テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。

管理者パスワード 0/20
半角英字(小)
—
クリア 取り消し 確定 ▶

入力したパスワードが異なる場合は、以下の画面が表示されます。
正しいパスワードを入力し直してください。

① 管理者パスワードが違います
画質 濃度 メニュー切替 ▶
標準 普通 インターネットファクス 1/3

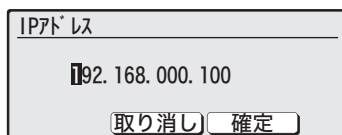
2 “IP アドレス登録／変更” を選択し、[確定] を押します。

ネットワーク設定 ◀1/2▶
IPアドレス登録/変更
MACアドレス表示
SMB設定 ▼
閉じる 確定

■ IP アドレス設定

3 “IP アドレス” を選択し、[確定] を押します。

4 テンキーで IP アドレスを入力し、[確定] を押します。



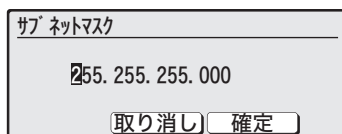
A dialog box titled "IPアドレス" (IP Address). It contains a text field with the value "192.168.000.100". Below the text field are two buttons: "取り消し" (Cancel) and "確定" (OK).

数値を入力し間違えたときは、カーソルキーでカーソルを変更箇所まで移動させ、数値を入力し直します。

■ サブネットマスク設定

5 カーソルキーで“サブネットマスク”を選択し、[確定] を押します。

6 テンキーでサブネットマスクのアドレスを入力し、[確定] を押します。



A dialog box titled "サブネットマスク" (Subnet Mask). It contains a text field with the value "255.255.255.000". Below the text field are two buttons: "取り消し" (Cancel) and "確定" (OK).

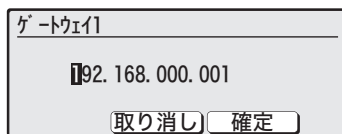
以降の項目は、必要な場合に設定します。

設定する必要がある場合は、手順 19 に進みます。

■ ゲートウェイ1 設定

7 カーソルキーで“ゲートウェイ1”を選択し、[確定] を押します。

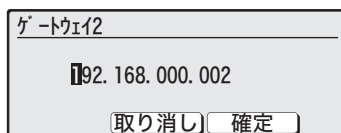
8 テンキーでゲートウェイ1のアドレスを入力し、[確定] を押します。



A dialog box titled "ゲートウェイ1" (Gateway 1). It contains a text field with the value "192.168.000.001". Below the text field are two buttons: "取り消し" (Cancel) and "確定" (OK).

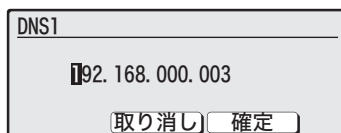
■ ゲートウェイ 2 設定

- 9 カーソルキーで“ゲートウェイ 2”を選択し、[確定]を押します。
- 10 テンキーでゲートウェイ 2 のアドレスを入力し、[確定]を押します。

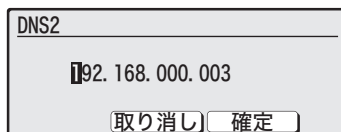


■ DNS 設定

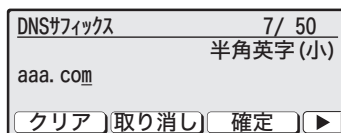
- 11 カーソルキーで“DNS 設定”を選択し、[確定]を押します。
- 12 “DNS 1”を選択し、[確定]を押します。
- 13 テンキーで DNS 1 サーバーのアドレスを入力し、[確定]を押します。



- 14 カーソルキーで“DNS 2”を選択し、[確定]を押します。
- 15 テンキーで DNS 2 サーバーのアドレスを入力し、[確定]を押します。



- 16 カーソルキーで“DNS サフィックス”を選択し、[確定]を押します。
- 17 テンキーで DNS サフィックスを入力し、[確定]を押します。



- 18 [閉じる]を押します。
- 19 [閉じる]を押します。

20 再起動確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

再起動を行わない限り、TCP / IP の設定は変更されません。

IPアドレスの変更を有効にするには
再起動する必要があります。
再起動しますか？

補足

Information server +Plus II にログインしているユーザーがいる場合、下記のような画面が表示されます。必ず、すべてのユーザーをログアウトさせてから、再起動を行ってください。

IPアドレスの変更を有効にするには
再起動する必要があります。
Is+Plusへのログインユーザーがいます
奥西 (192.168.000.101) ▼

MAC アドレスを確認する

MAC アドレスは入力（変更）できません。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。

補足

Information server +Plus II の“オプション”画面にある“ユーザー情報”で管理者が設定されている場合は、“管理者パスワード”画面が表示されます。

テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。

管理者パスワード 0 / 20
半角英字(小)

—

2 カーソルキーで“MAC アドレス表示”を選択し、[確定] を押します。

3 MAC アドレスを確認し、[閉じる] を押します。

MACアドレス表示

00:50:81:20:29:CC

SMB 設定をする

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。

補足

Information server +Plus II の“オプション”画面にある“ユーザー情報”で管理者が設定されている場合は、“管理者パスワード”画面が表示されます。

テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。

管理者パスワード	0/ 20		
半角英字 (小)			
—			
クリア	取り消し	確定	▶

2 カーソルキーで“SMB 設定”を選択し、[確定] を押します。

■ NetBIOS 設定

3 “NetBIOS”を選択し、[確定] を押します。

4 テンキーで NetBIOS を入力し、[確定] を押します。

NetBIOS	12/ 15		
半角英字 (小)			
00101111ab0a			
クリア	取り消し	確定	▶

■ ワークグループ設定

5 カーソルキーで“ワークグループ”を選択し、[確定] を押します。

6 テンキーでワークグループ名を入力し、[確定] を押します。

ワークグループ	9/ 15		
半角英字 (大)			
WORKGROUP			
クリア	取り消し	確定	▶

文字の入力モードを切り替える場合は、[入力モード] を押し、カーソルキーで入力モードを選択した後、[確定] を押します。

■ WINS 1 設定

- 7 カーソルキーで“WINS 1”を選択し、[確定]を押します。
- 8 テンキーで WINS 1 のアドレスを入力し、[確定]を押します。



■ WINS 2 設定

- 9 カーソルキーで“WINS 2”を選択し、[確定]を押します。
- 10 テンキーで WINS 2 のアドレスを入力し、[確定]を押します。



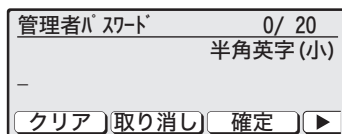
- 11 [閉じる]を押します。
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

Ping を実行する

- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。

補足

Information server +Plus II の“オプション”画面にある“ユーザー情報”で管理者が設定されている場合は、“管理者パスワード”画面が表示されます。
テンキーでパスワードを入力し、[確定]を押します。



- 2 カーソルキーで“Ping”を選択し、[確定]を押します。

3 テンキーで確認したいコンピューターやネットワーク機器の IP アドレスまたはホスト名を入力し、[確定] を押します。

通信が行われ、Ping の情報が表示されます。

Ping 11/ 50
半角数字
192.168.0.1
クリア 取り消し 確定 ▶

4 [閉じる] を押します。

Ping
Ping 32ビットデータ :
192.168.0.1
パケット:送信 = 4 受信 = 4
閉じる

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを設定します。

タイムゾーンとは、世界各国で標準時とされているイギリスのグリニッジ天文台からの時差 (±12 時間以内) と同じ時差を使っている地域のことです。

Information server +Plus II の“インターネット時刻”をご使用になる場合は、タイムゾーンを設定しておく必要があります。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで“タイムゾーン”を選択し、[確定] を押します。

設定モード ◀3/3▶
発信元番号:123-456-7890 ▲
ナンバー・ディスプレイ設定
タイムゾーン:+09:00
閉じる 確定

3 [−] ([+])、テンキーまたはカーソルキーでタイムゾーンを入力し、[確定] を押します。

タイムゾーン
タイムゾーンを入力してください
+09:00
− 取り消し 確定

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

サーバーデータを消去する

重要

IP アドレスなど、ネットワーク設定で設定されているデータを消去します。
この操作を行った場合、Information server +Plus II で設定されているデータもすべて消去されます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈7〉、[確定] と押します。

補足

Information server +Plus II の“オプション”画面にある“ユーザー情報”で管理者が設定されている場合は、“管理者パスワード”画面が表示されます。
テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。

管理者パスワード 0/20
半角英字(小)
—
クリア 取り消し 確定 ▶

2 消去確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

サーバーデータ消去
ネットワークオプションで設定している
全てのデータが消去されます。
消去しますか？
はい いいえ

3 もう一度消去確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

サーバーデータ消去
消去されたデータは復旧できません
のでご注意ください。
消去しますか？
いいえ はい

消去が完了すると、以下の画面が表示されます。

① 消去完了しました
※一度電源を切ってください
標準 普通 ファクス 1/3

4 シャットダウン操作（1-32 ページ参照）を行い、電源を切ります。

この操作を行うと、サーバーデータが消去されます。

機器管理リストをプリントする

機器管理リストをプリントできます。

※ ネットワーク設定のリストは、機器管理リストの中に含まれています。

- 1 〈機器設定／登録〉を押し、カーソルキーで“リスト”を選択後、[確定]を押します。
- 2 カーソルキーで“機器設定”を選択し、[確定]を押します。
- 3 カーソルキーで“機器管理リスト”を選択し、[確定]を押します。
- 4 プリント確認画面が表示されますので、[はい]を押します。

機器管理リスト

印字しますか？

補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。

〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈3〉、[確定] と押し、[はい] を押します。

インターネットファクス設定

メール定型文の初期値を設定する

インターネットファクスに付ける件名とメッセージの初期値を設定できます。

補足

メール定型文の登録は、Information server +Plus II の“オプション”画面－[メールオプション]で行ってください。

(リファレンスマニュアル “設定のしかた”－“接続環境を設定する”－“メールオプションの設定”参照)

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈2〉、〈7〉、[確定] と押します。

2 “ON” を選択し、[確定] を押します。

メール定型文
OFF
ON
取り消し 確定

3 カーソルキーでメール定型文を選択し、[確定] を押します。

メール定型文 ◀1/4▶
固定文
固定文 (件名のみ)
01: お知らせ ▼
取り消し 確定

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

添付ファイルのフォーマットの初期値を設定する

インターネットファクスに添付するファイルのフォーマットの初期値を設定できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈2〉、〈5〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーでフォーマットを選択し、[確定] を押します。

- ・ [TIFF-S]

シンプルモード用 TIFF 形式です。

原稿はすべて A4 サイズ、200dpi 以下に変換して送信します。

- ・ [TIFF-F]

フルモード用 TIFF 形式です。

原稿読み取り時の原稿サイズおよび解像度のまま送信します。

- ・ [PDF]

PDF 形式で送信します。



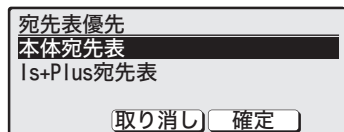
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

宛先表の優先表示設定をする

ファクス待機画面で、最初に表示される宛先表の種別を選択できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈4〉、〈5〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで宛先表の種別を選択し、[確定] を押します。



- ・ “本体宛先表” または “Is+Plus 宛先表” から選択できます。

- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

Is+Plus 自動配信 ON / OFF の切り替えをする

Information server +Plus II の自動配信機能（受信文書を自動的に Information server +Plus II に配信する）を、一括して有効（ON）または無効（OFF）に切り替えることができます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈4〉、〈3〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで、自動配信を無効にする場合は“OFF”、有効にする場合は“ON”を選択し、[確定] を押します。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

メール機能キーを優先して表示する

〈ファクス〉を押した時、メール機能キー（インターネットファクス待機画面）を最初に表示させることができます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈4〉、〈7〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“ON”を選択し、[確定] を押します。



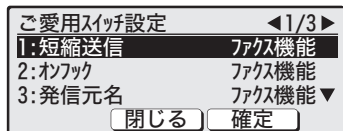
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

ご愛用スイッチを設定する

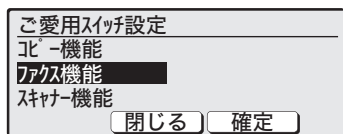
インターネットファクスでよく使用する機能を、ご愛用スイッチに割り当てることができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈1〉、[確定] と押します。

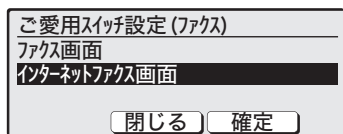
2 カーソルキーで設定したいご愛用スイッチの番号を選択し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで“ファクス機能”を選択し、[確定] を押します。

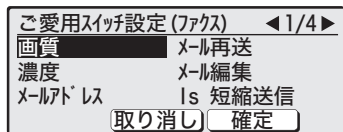


4 カーソルキーで“インターネットファクス画面”を選択し、[確定] を押します。



5 カーソルキーで割り当てる機能を選択し、[確定] を押します。

- ・ 続けて設定する場合は、手順 2～5 を繰り返します。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。



1

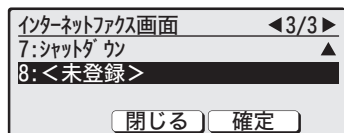
本体
の
設
定

タッチパネルキーを設定する

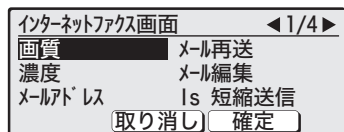
インターネットファクスでよく使用する機能を、待機画面のタッチパネルキーに登録することができます。すべての応用機能をタッチパネルに登録することができます。

■ タッチパネルキーの登録/変更

- 1 〈機器設定/登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“ファクス画面”を選択し、[確定]を押します。
- 3 カーソルキーで“インターネットファクス画面”を選択し、[確定]を押します。
- 4 “登録/変更”を選択し、[確定]を押します。
- 5 カーソルキーで登録したいタッチパネルキーを選択し、[確定]を押します。



- 6 カーソルキーで登録する機能を選択し、[確定]を押します。
続けて登録する場合は、手順5、6を繰り返します。

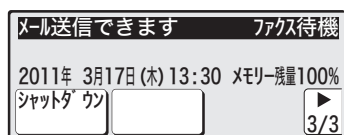


〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

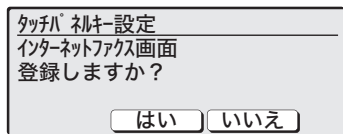
空のタッチパネルキーからの登録

待機画面にある、機能が登録されていないタッチパネルキーを押すだけで簡単に登録を行うことができます。

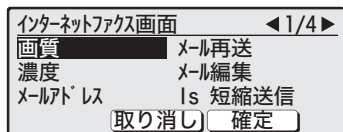
- 1 [▶]を押し、空のタッチパネルキーを押します。



2 [はい] を押します。



3 カーソルキーでタッチパネルキーとして登録したい機能を選択し、[確定] を押します。



4 機能がタッチパネルキーに登録されます。 新しく空のタッチパネルキーが表示されますので、続けて登録することができます。

タッチパネルキーに登録した応用機能は、〈応用機能〉のメニューから消去されます。

■ タッチパネルキーの削除

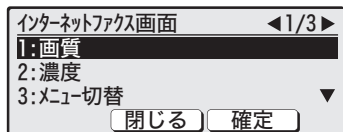
1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで“ファクス画面”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで“インターネットファクス画面”を選択し、[確定] を押します。

4 カーソルキーで“削除”を選択し、[確定] を押します。

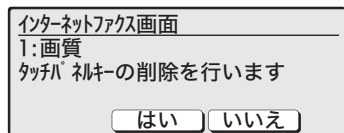
5 カーソルキーでタッチパネルキーから削除する機能を選択し、[確定] を押します。



6 削除確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

機能の表示が、〈未登録〉に変わります。

- ・ 続けて削除する場合は、手順 5、6 を繰り返します。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補足

すべてのタッチパネルキーを削除した場合は、空のタッチパネルキーが一つだけ表示されます。



空のタッチパネルキーから直接、機能を登録することができます。(1-16 ページ)

■ タッチパネルキーの初期化

変更したタッチパネルキーを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。

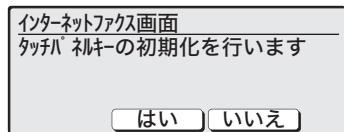
2 カーソルキーで“ファクス画面”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで“インターネットファクス画面”を選択し、[確定] を押します。

4 カーソルキーで“初期化”を選択し、[確定] を押します。

5 初期化確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

終了後、“❗初期化されました”というメッセージが表示され、初期の状態に戻ります。

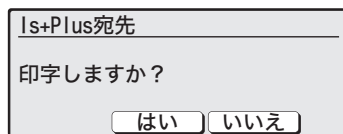


〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

Is+Plus 宛先表をプリントする

登録されている“Is+Plus 宛先表”をプリントできます。

- 1 〈機器設定／登録〉を押し、カーソルキーで“リスト”を選択後、[確定]を押します。
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。
- 2 カーソルキーで“Is+Plus 宛先”を選択し、[確定]を押します。
- 3 プリント確認画面が表示されますので、[はい]を押します。



補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。

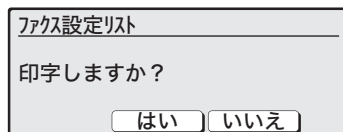
〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈1〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

ファクス設定リストをプリントする

ファクス設定リストをプリントできます。

※ インターネットファクス設定のリストは、ファクス設定リストの中に含まれています。

- 1 〈機器設定／登録〉を押し、カーソルキーで“リスト”を選択後、[確定]を押します。
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。
- 2 カーソルキーで“機器設定”を選択し、[確定]を押します。
- 3 カーソルキーで“ファクス設定リスト”を選択し、[確定]を押します。
- 4 プリント確認画面が表示されますので、[はい]を押します。



補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。

〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

ネットワークスキャン設定

画質・濃度・解像度の初期値を設定する

スキャン時の画質・濃度・解像度の初期値を設定できます。

■ 画質の設定

1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈1〉、〈1〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで画質を選択し、[確定] を押します。

・ [文字]

原稿が文字の場合に選択します。

・ [文字／写真]

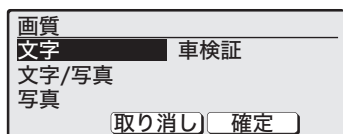
原稿に文字と写真が混在している場合に選択します。

・ [写真]

原稿が写真の場合に選択します。

・ [車検証]

車検証などで、地模様や地色のある原稿の背景を読み取らない場合に選択します。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

■ 濃度の設定

1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈1〉、〈3〉、[確定] と押します。

2 [◀] [▶] またはカーソルキーの ◀ ▶ で濃度を選択し、[確定] を押します。

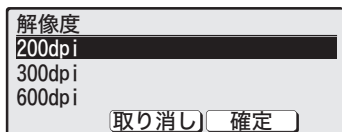


・ “薄く” ～ “普通” ～ “濃く” の5段階で選択できます。

・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

■ 解像度の設定

- 1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈1〉、〈5〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで解像度を選択し、[確定] を押します。

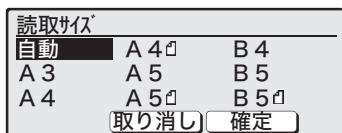


- ・ “200dpi”、“300dpi” または “600dpi” を選択できます。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

スキャンの読取サイズの初期値を設定する

スキャン文書の読取サイズの初期値を設定できます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈1〉、〈7〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで読取サイズを選択し、[確定] を押します。

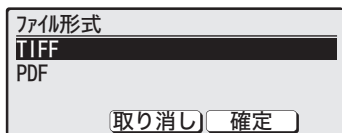


〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

スキャン文書ファイル形式の初期値を設定する

スキャン文書の保存ファイル形式の初期値を設定できます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈1〉、〈9〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーでファイル形式を選択し、[確定] を押します。

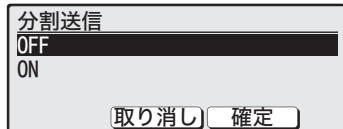


- ・ “TIFF” または “PDF” を選択できます。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

分割送信の初期値を設定する

スキャンした複数枚のページを1枚ずつ分割して別の文書として送信（分割送信）するかどうかを設定できます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈2〉、〈1〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで、分割送信を行う場合は“ON”、行わない場合は“OFF”を選択し、[確定] を押します。

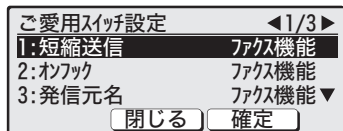


〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

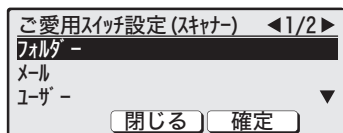
ご愛用スイッチを設定する

スキャンでよく使用する機能を、ご愛用スイッチに割り当てることができます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈1〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで設定したいご愛用スイッチの番号を選択し、[確定] を押します。

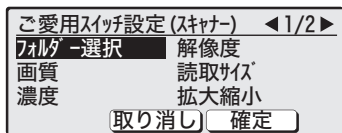


- 3 カーソルキーで“スキャナー機能”を選択し、[確定] を押します。
- 4 カーソルキーでご愛用スイッチに設定したい機能の種別を選択し、[確定] を押します。



5 カーソルキーで割り当てる機能を選択し、[確定] を押します。

- ・ 続けて設定する場合は、手順 2 ～ 5 を繰り返します。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。



タッチパネルキーを設定する

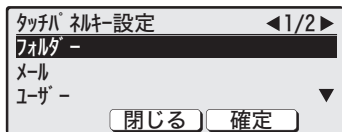
スキャンでよく使用する機能を、待機画面のタッチパネルキーに登録することができます。すべての応用機能をタッチパネルに登録することができます。

■ タッチパネルキーの登録／変更

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで“スキャナー画面”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーでタッチパネルキーに登録したい機能の種別を選択し、[確定] を押します。



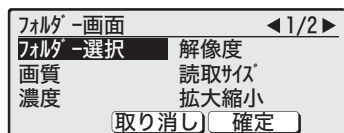
4 “登録／変更”を選択し、[確定] を押します。

5 カーソルキーで登録したいタッチパネルキーを選択し、[確定] を押します。



6 カーソルキーで登録する機能を選択し、[確定]を押します。

続けて登録する場合は、手順5、6を繰り返します。

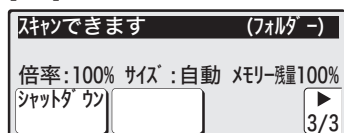


〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

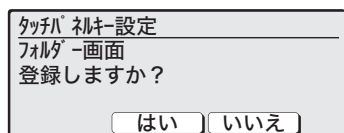
空のタッチパネルキーからの登録

待機画面にある、機能が登録されていないタッチパネルキーを押すだけで簡単に登録を行うことができます。

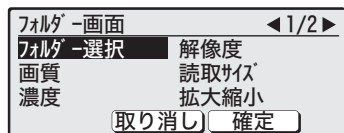
1 [▶]を押し、空のタッチパネルキーを押します。



2 [はい]を押します。



3 カーソルキーでタッチパネルキーとして登録したい機能を選択し、[確定]を押します。



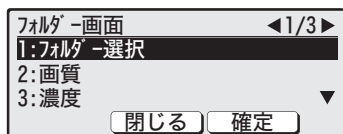
4 機能がタッチパネルキーに登録されます。

新しく空のタッチパネルキーが表示されますので、続けて登録することができます。

タッチパネルキーに登録した応用機能は、〈応用機能〉のメニューから消去されます。

■ タッチパネルキーの削除

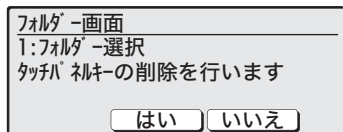
- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“スキャナー画面”を選択し、[確定] を押します。
- 3 カーソルキーで削除するタッチパネルキーの機能の種別を選択し、[確定] を押します。
- 4 カーソルキーで“削除”を選択し、[確定] を押します。
- 5 カーソルキーでタッチパネルキーから削除する機能を選択し、[確定] を押します。



- 6 削除確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

機能の表示が、〈未登録〉に変わります。

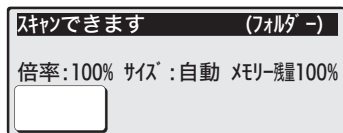
・ 続けて削除する場合は、手順5、6を繰り返します。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補足

すべてのタッチパネルキーを削除した場合は、空のタッチパネルキーが一つだけ表示されます。

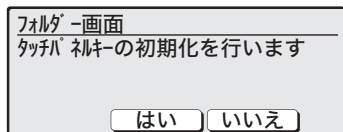


空のタッチパネルキーから直接、機能を登録することができます。(1-24 ページ)

■ タッチパネルキーの初期化

変更したタッチパネルキーを工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“スキャナー画面”を選択し、[確定] を押します。
- 3 カーソルキーで初期化を行うタッチパネルキーの機能の種別を選択し、[確定] を押します。
- 4 カーソルキーで“初期化”を選択し、[確定] を押します。
- 5 初期化確認画面が表示されますので、[はい] を押します。
終了後、“❶初期化されました”というメッセージが表示され、初期の状態に戻ります。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

画面自動リセット時間を設定する

スキャン画面を自動的に待機画面に戻すまでの時間を設定できます。

スキャン操作後、ここで設定した時間内に何も操作しない場合、設定した項目がリセットされ、待機画面に戻ります。

“読取終了後にリセット”を OFF にすると、リセット時間で設定した時間後にリセットされます。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈5〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“スキャナー画面”を選択し、[確定] を押します。

■ リセット時間を設定する場合

3 “リセット時間” が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

4 テンキーまたはカーソルキーで時間を設定し、[確定] を押します。

- ・ 1 ～ 10 分の範囲で設定できます。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

■ 読み取り終了後に画面をリセットする場合

3 カーソルキーで“読取終了後にリセット”を選択し、[確定] を押します。

4 カーソルキーで“ON”を選択し、[確定] を押します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

キータッチ音色を設定する

スキャン操作時のキータッチの音色を設定できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで“キータッチ音色”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで“スキャナー”を選択し、[確定] を押します。

4 カーソルキーで音色を選択し、[確定] を押します。

- ・ “低音”、“中音”または“高音”から選択できます。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

スキャン禁止の設定をする


スキャン操作を禁止する場合に設定します。

この設定を行った場合、〈スキャナー〉を押すと、“スキャン禁止”のメッセージが表示され、スキャン操作が行えなくなります。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈7〉、[確定] と押します。

補足 ●

“禁止設定”にプロテクト機能が設定されている場合は、下記の画面が表示されます。
この場合、プロテクトコードを入力し、[確定] を押します。

また、複合機本体にプロテクトコードが登録されていない場合は、“ プロテクトコードが未登録です”というメッセージが表示され、スキャン禁止の設定はできません。
複合機本体の取扱説明書を参照し、プロテクトコードを登録してください。

2 カーソルキーで“スキャン禁止”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで“禁止する”を選択し、[確定] を押します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

スキャナー設定リストをプリントする

スキャナー設定リストをプリントできます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。ただしショートカットで操作する場合は、ファクスモードに切り替える必要はありません。

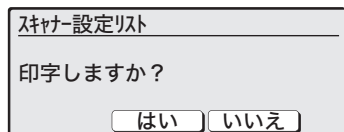
1 〈機器設定／登録〉を押し、カーソルキーで“リスト”を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

2 カーソルキーで“機器設定”を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで“スキャナー設定リスト”を選択し、[確定] を押します。

4 プリント確認画面が表示されますので、[はい] を押します。



補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。

〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈1〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

フォルダー・ショートカットリストをプリントする

フォルダー・ショートカットリストをプリントできます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。ただしショートカットで操作する場合は、ファクスモードに切り替える必要はありません。

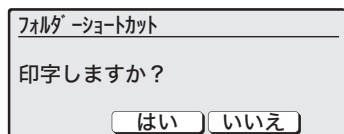
1 〈機器設定／登録〉を押し、カーソルキーで“リスト”を選択後、[確定]を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

2 カーソルキーで“その他のリスト”を選択し、[確定]を押します。

3 カーソルキーで“フォルダーショートカット”を選択し、[確定]を押します。

4 プリント確認画面が表示されますので、[はい] を押します。



補足

- ・ ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。

〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈3〉、〈3〉、[確定] と押し、[はい] を押します。

- ・ フォルダー・ショートカットが登録されていない場合は、“❗登録されていません”というメッセージが表示されます。

挿入する日付ファイル名の表示形式を設定する

ファイル名の入力で [日付挿入] を押したときの、日付の表示形式を設定します。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈6〉、〈0〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで日付の表示形式を選択し、[確定] を押します。



〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補 足 ○

日付の表示形式は以下の通りです。y は年を、m は月を d は日を表します。

＊例：現在の日付が 2011 年 3 月 17 日のとき

- ・ yyyymmdd 20110317
- ・ yyymmdd 110317
- ・ yyyymm 201103
- ・ yy 11
- ・ mm 03
- ・ dd 17

PC プリント設定

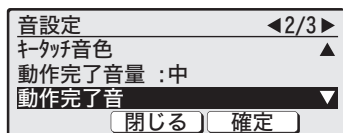
PC プリント完了音を設定する

Information server +Plus II の文書をプリントした場合の、プリント完了音を設定できます。

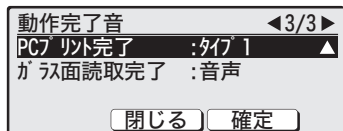
1

本体
の
設
定

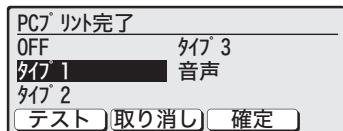
- 1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、[確定] と押します。
- 2 カーソルキーで“動作完了音”を選択し、[確定] を押します。



- 3 カーソルキーで“PC プリント完了”を選択し、[確定] を押します。



- 4 カーソルキーで完了音を選択し、[確定] を押します。



- ・ [テスト] を押すと、それぞれの音を視聴できます。
- ・ 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

シャットダウン

シャットダウン操作をする

複合機本体の電源をお切りになる前に、必ずシャットダウン操作を行ってください。
また、ネットワーク設定の「IP アドレス」の値を設定／変更した場合やサーバーデータを
消去した場合も必ず行ってください。

- 1 〈機器設定／登録〉、〈0〉、[確定] と押します。
- 2 確認画面が表示されますので、[はい] を押します。

電源を安全に切れるように、
Is+Plusをシャットダウンします
シャットダウンしますか？

補足

この時点で、Information server +Plus II にログインしているユーザーがいる場合は、
下記のような画面が表示されます。

シャットダウンを行った場合、これらのユーザーの Information server +Plus II へ
の接続が切断されます。

Is+Plusへのログインユーザーがいます
奥西 (192.168.000.101)

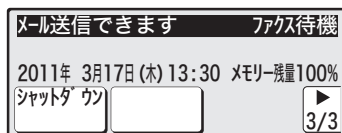
シャットダウンしますか？

- 3 電源スイッチを切ります。

■ タッチパネルキーからのシャットダウン

待機画面にあるタッチパネルキーからもシャットダウン操作を行うことができます。

- 1 [▶] を押し、[シャットダウン] を押します。



- 2 以降は上記手順 2～3 と同じです。

ブラウザから設定する

Information server +Plus II に関する設定や宛先表の登録などをブラウザから設定することができます。メールサーバー設定や電子メールに関する設定などはブラウザからのみ設定できます。

補足

ブラウザから設定するためには、複合機本体に IP アドレスが設定されている必要があります。

Information server +Plus II にログインする

- 1 Internet Explorer を起動します。
- 2 アドレスフィールドに複合機本体の IP アドレスを入力し、キーボードの〈Enter〉を押します。
(例 http://192.168.1.10/)

補足

複合機本体の IP アドレスがわからないときは、以下の方法で確認できます。

1. 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈3〉、[確定] と押します。
2. “IP アドレス登録／変更” を選択し、[確定] を押します。
3. 画面に表示されている “IP アドレス” を確認してください。

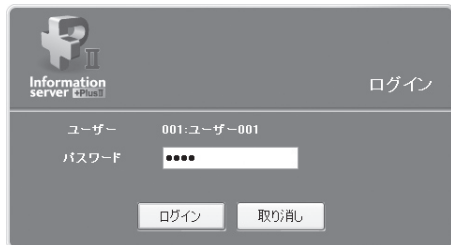
- 3 “ユーザー一覧画面” が表示されます。ログインするユーザー名をクリックします。



補足

Information server +Plus II ユーザーが 1 人しか登録されていない場合は、この画面は表示されません。

4 ログインパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。



Information server Plus2 ログイン

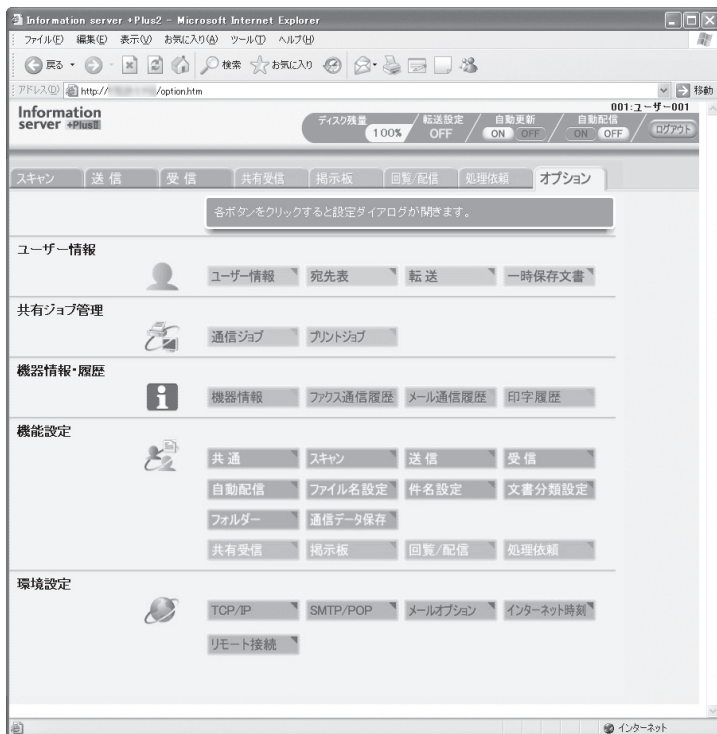
ユーザー 001:ユーザー-001

パスワード

補足

ログインパスワードが設定されていない場合は、この画面は表示されません。

5 “オプション” タブをクリックして、[オプション] 画面を表示させます。



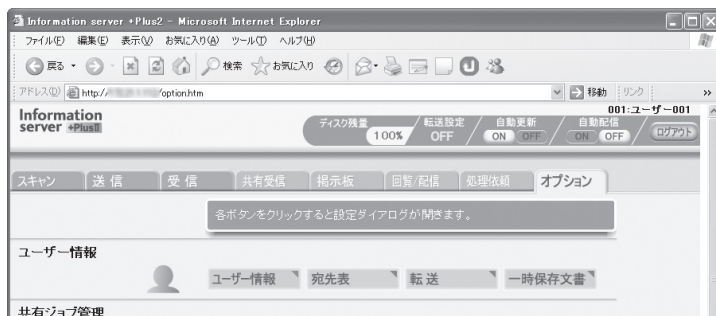
6 設定したい項目をクリックし、設定をします。

補足

設定方法の詳細については、“リファレンスマニュアル”を参照してください。

Information server +Plus II からログアウトする

1 画面右上にある [ログアウト] をクリックします。



補足

Information server +Plus II からログアウトするときは必ず [ログアウト] を押してログアウトしてください。ブラウザを閉じただけでは正しくログアウトできない場合があります。

1

本体
の
設
定

第 2 章

本体の操作

この章では、インターネットファクスおよびネットワークスキャンを行う場合の具体的な操作方法について記載しています。

インターネットファクス..... 2-2

基本的な送信のしかた.....	2-2
前回送信した宛先を使って送信する.....	2-14
履歴を使って送信する.....	2-15
ファイル形式を選択して送信する.....	2-16
大量の文書をページごとに送信する（分割送信）.....	2-17
POP 受信のしかた.....	2-18

ネットワークスキャン.....2-19

スキャン文書を共有フォルダーに保存する.....	2-19
スキャン文書を電子メール送信する.....	2-25
スキャン文書を登録ユーザーに転送する.....	2-33
スキャン文書を掲示板に掲示する.....	2-35
スキャン文書を回覧／配信する.....	2-37
スキャン文書を処理依頼する.....	2-40
文書を拡大／縮小してスキャンする.....	2-42
大量の文書をページごとにスキャンする（分割送信）.....	2-43
ファイル形式を選択してスキャンする.....	2-44

インターネットファクス

基本的な送信のしかた

インターネットファクスを行う場合の基本的な送信のしかたについて説明します。

- メール機能優先表示（1-14 ページ参照）を“ON”にしている場合と“OFF”にしている場合では、〈ファクス〉を押した時の待機画面の表示が変わります。このマニュアルでは、メール機能優先表示を“ON”にしている場合の操作について説明しています。

通信できます		ファクス待機	
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
画質	濃度	メニュー切替	▶
標準	普通	ファクス	1/3

メール機能優先表示“OFF”の場合

メール送信できます		ファクス待機	
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
画質	濃度	メニュー切替	▶
標準	普通	インターネットファクス	1/3

メール機能優先表示“ON”の場合

メール機能優先表示を“OFF”にしている場合は、ファクス待機画面で[メニュー切替]を押すと、“ON”にしている場合と同じ画面が表示されます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

■ 電子メールアドレスを入力して送信する

電子メールアドレスを直接入力して送信します。

1 原稿をセットします。

必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 電子メールアドレスを入力します。

(1) [▶] を押し、[メールアドレス] を押します。

メール送信できます		ファクス待機	
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
読取サイズ	メールアドレス	メール編集	▶
自動			2/3

(2) テンキーで電子メールアドレスを入力し、[確定] を押します。

複数の宛先を設定する場合は、手順 (1)、(2) の操作を繰り返します。

スタートをどうぞ 半角英字(小)			
To :muraki@abc.co.jp			
クリア	取り消し	確定	▶

- ・ 半角英数字で 50 文字まで入力できます。
- ・ [入力モード] を押すと、文字キーの入力モードを切り替えることができます。

カーソルキーで入力モードを選択し、[確定] を押します。

- ・ [To/Cc/Bcc] を押すたびに、宛先形態を切り替えることができます。
- ・ [クリア] を押すと、入力した文字が 1 文字ずつ消去されます。
- ・ [取り消し] を押すと、入力を取り消され、ファクス待機画面に戻ります。

3 電子メールの件名と本文を入力します。

(1) [▶] を押し、[メール編集] を押します。

メール送信できます		ファクス待機	
muraki@abc.co.jp			
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
読取サイズ	メールアドレス	メール編集	▶
自動			3/4

(2) “件名” が選択されていることを確認し、[▶] を押した後、[確定] を押します。

補足

メール定型文の初期値を変更することができます。(1-12 ページ)

(3) 件名を入力し、[確定] を押します。

件名編集	8/ 80
漢かな	
見積依頼	
クリア	取り消し
確定	▶

- ・ 全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

(4) カーソルキーで “本文” を選択し、[確定] を押します。

(5) 本文を入力し、[確定] を押します。

本文編集	26/1024
漢かな	
見積書の作成をお願いします	
クリア	取り消し
確定	▶

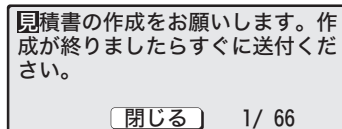
- ・ 全角で 512 文字（半角で 1,024 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

補足

- ・ 入力した件名や本文の内容を全文表示する場合は、[内容表示] を押します。

メール編集	
件名: 見積依頼	
本文: 見積書の作成をお願いします	
定型選択	内容表示
	▶

内容が全文表示されます。



- ・カーソルキーを押すと、カーソルが移動します。
- ・[閉じる]を押すと、“メール編集”画面に戻ります。

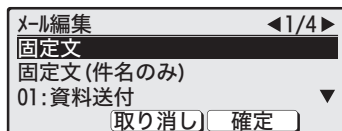
補足

件名と本文の入力は、“定型文”を利用して行うことができます。
定型文は、Information server +Plus II であらかじめ登録しておきます。
（“リファレンスマニュアル”の“接続環境を設定する”－“メールオプションの設定”を参照）

- (1) “メール編集”画面で、[定型選択]を押します。



- (2) カーソルキーで登録されている定型文を選択し、[確定]を押します。



“固定文”を選択した場合は、以下の内容が設定されます。

件名: E-mail Message

本文: これはファクシミリで送信された電子メールです。

添付ファイルを参照してください。

- (6) [▶]を押し、[閉じる]を押します。

4 宛先を確認します。

- (1) [宛先確認]を押します。



- (2) 宛先を確認します。



- 宛先形態を変更する場合は、カーソルキーで変更する宛先を選択し、[To/Cc/Bcc] を押します。
- 入力した宛先を削除する場合は、カーソルキーで宛先を選択し、[削除] を押します。“削除しますか？”というメッセージが表示されますので、[はい] を押します。

5 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

“読取中” というメッセージが表示され、原稿の読み取りが行われます。

宛先確認
To : muraki@abc.co.jp
削除 閉じる 送信開始 ▶

補足

- 宛先確認が ON になっている場合、手順 4 を行わずに手順 5 で〈スタート〉を押すと、手順 4 の (2) の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

補足

- ガラス面から原稿を読み取った場合で原稿サイズを検知できないときは、“蓄積原稿サイズ” 画面が表示されます。原稿サイズを指定し、[確定] を押します。

蓄積原稿サイズ
B4 A5
A4 B5
B5 A5
取り消し 確定

- インターネットファクス送信の原稿スキャン時にメモリー容量をオーバーしたときは、下記のようなメッセージが表示されます。この場合は、メモリーが空くのを待ち、スキャンし直してください。

ファクス待機
メモリーオーバーしました
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリー残量 1%
画質 濃度 メニュー切替
標準 普通 インターネットファクス 1/3

また、複数枚のスキャン時、2 枚目以降にメモリー容量をオーバーした場合は、下記のようなメッセージが表示されます。

[はい] を押すと、蓄積された原稿のスキャンが有効になります。

[いいえ] を押すと、無効になり蓄積された原稿は消去されます。

メモリーオーバーしました
原稿蓄積枚数: 3枚
蓄積分を有効にしますか?
はい いいえ

※ “データサイズが制限を超えました” というメッセージが表示されることがあります。この場合は、画質や濃度を調整したり、複数回に分けてスキャンを行うなどの処置を行ってください。

6 次の原稿を読み取るかどうかを選択します。

＜次の原稿を読み取らない場合＞

原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を “なし” に設定します。

メール送信		読取中	
muraki@abc. co. jp			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	次の原稿		
OFF	なし		

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は [次の原稿] の表示はあらかじめ “なし” が設定されています。

＜次の原稿を読み取る場合＞

(1) 原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を “あり” に設定します。

メール送信		読取中	
muraki@abc. co. jp			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	次の原稿		
OFF	あり		

補足

ガラス面に原稿をセットした場合は、[次の原稿] の表示はあらかじめ “あり” が設定されています。

(2) “次の原稿をセットしてください” というメッセージが表示されますので、次の原稿をセットし、[読取開始] を押します。

新規の文書として送信する場合は、[▶] を押し、[新規文書] を押します。

この場合、それまでに読み取られた原稿は送信されます。

次の原稿をセットしてください			
muraki@abc. co. jp			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

次の原稿が読み取られます。

(3) 読み取りを完了して送信する場合は、[送信開始] を押します。

次の原稿をセットしてください			
muraki@abc. co. jp			
A4 標準 P003		メモリ量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

文書に送信確認証を添付する場合は、[送信証] を押し、表示を“ON” に設定します。

メール送信		読取中	
muraki@abc. co. jp			
A4 標準 P001		メモリ量 99%	
送信証	次の原稿		
ON	あり		

■ Is+Plus 宛先表から宛先を選択して送信する

補足

Is+Plus2 宛先表にあらかじめ宛先情報を登録しておく必要があります。

(リファレンスマニュアル“宛先表を作成する”－“Is+Plus2 宛先表の作成”参照)

1 原稿をセットします。

必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 カーソルキー(▼)を押し、カーソルキーで送信する宛先を選択後、[選択]を押します。

複数の宛先を設定する場合は、この操作を繰り返します。

Is+宛先表[日本語]		◀1/7▶	
あ行:上村博隆		✓	
か行:草野敏伸			
な行:西島亜希子		▼	
クリア	閉じる	選択	▶

補足

[検索] を押すと、検索画面が表示され、宛先の検索ができます。

宛先の読み仮名の頭文字を含むアルファベットグループを選択し、[確定] を押します。

選択した読み仮名の宛先が表示されます。

あ行	か行	さ行
た行	な行	は行
ま行	や行	ら行
	わ行	記号
アルファベット	閉じる	確定

3 [閉じる] を押します。

4 電子メールの件名と本文を入力します。

(1) [▶] を押し、[メール編集] を押します。

メール送信できます		ファクス待機	
0001:上村博隆			
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
読取サイズ	メールアドレス	メール編集	▶
自動			3/4

(2) “件名” が選択されていることを確認し、[▶] を押した後、[確定] を押します。

補足

メール定型文の初期値は変更することができます。(1-12 ページ)

(3) 件名を入力し、[確定] を押します。

件名編集	8/ 80		
漢かな			
見積依頼_			
クリア	取り消し	確定	▶

- ・ 全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

(4) カーソルキーで“本文”を選択し、[確定] を押します。

(5) 本文を入力し、[確定] を押します。

本文編集	26/1024		
漢かな			
見積書の作成をお願いします_			
クリア	取り消し	確定	▶

- ・ 全角で 512 文字（半角で 1,024 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。


(6) [閉じる] を押します。

5 宛先を確認します。

(1) [宛先確認] を押します。

メール送信できます		ファクス待機	
0001:上村博隆			
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%			
宛先確認で同報を	宛先確認	▶	
確認できます			1/4

(2) 宛先を確認します。

宛先確認	
To :	上村博隆
グループ :	小野田商事
<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/> 

- ・宛先形態を変更する場合は、カーソルキーで変更する宛先を選択し、[To/Cc/Bcc] を押します。
- ・グループを宛先に設定している場合は、“グループ” が表示されます。この場合は、Information server +Plus II で設定したグループ宛先表の内容で送信されます。
- ・設定した宛先を削除する場合は、カーソルキーで宛先を選択し、[削除] を押します。“削除しますか？” というメッセージが表示されますので、[はい] を押します。

6 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

“読取中” というメッセージが表示され、原稿の読み取りが行われます。

宛先確認	
To :	上村博隆
<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/> 

補足

- ・宛先確認が ON になっている場合、手順 5 を行わずに手順 6 で〈スタート〉を押すと、手順 5 の (2) の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

7 次の原稿を読み取るかどうかを選択します。

＜次の原稿を読み取らない場合＞

原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を “なし” に設定します。

メール送信	読取中
0001: 上村博隆	
A4 標準 P001	メモリ残量 99%
送信証	次の原稿
OFF	なし

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は [次の原稿] の表示はあらかじめ “なし” が設定されています。

＜次の原稿を読み取る場合＞

(1) 原稿読み取り中に「次の原稿」を押し、表示を“あり”に設定します。

メール送信		読取中
0001: 上村博隆		
A4 標準 P001		メモリ残量 99%
送信証	次の原稿	
OFF	あり	

補足

ガラス面に原稿をセットした場合、「次の原稿」の表示はあらかじめ“あり”が設定されています。

(2) “次の原稿をセットしてください”というメッセージが表示されますので、次の原稿をセットし、[読取開始]を押します。

新規の文書として送信する場合は、[▶] を押し、[新規文書]を押します。

この場合、それまでに読み取られた原稿は送信されます。

次の原稿をセットしてください			
0001: 上村博隆			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

次の原稿が読み取られます。

(3) 読み取りを完了して送信する場合は、[送信開始]を押します。

次の原稿をセットしてください			
0001: 上村博隆			
A4 標準 P003		メモリ残量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

文書に送信確認証を添付する場合は、「送信証」を押し、表示を“ON”に設定します。

メール送信		読取中
0001: 上村博隆		
A4 標準 P001		メモリ残量 99%
送信証	次の原稿	
ON	あり	

■ Is+Plus 短縮送信をする

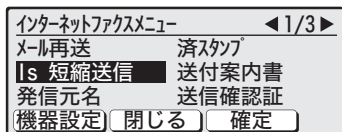
Is+Plus2 宛先表の宛先表番号があらかじめ分かっている場合、番号を直接指定して宛先を設定し、送信できます。

1 原稿をセットします。

必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

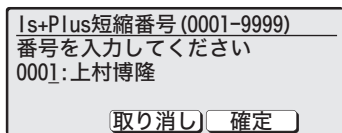
2 〈応用機能〉を押します。

3 カーソルキーで“Is 短縮送信”を選択し、[確定]を押します。



4 テンキーまたはカーソルキーで宛先表番号を入力し、[確定]を押します。

複数の宛先を設定する場合は、手順 3、4 の操作を繰り返します。



5 [閉じる]を押します。

6 電子メールの件名と本文を入力します。

(1) [▶] を押し、[メール編集]を押します。

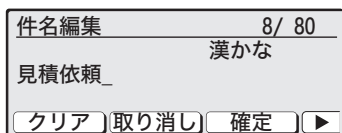


(2) “件名”が選択されていることを確認し、[▶]を押した後、[確定]を押します。

補足

メール定型文の初期値は変更することができます。(1-12 ページ)

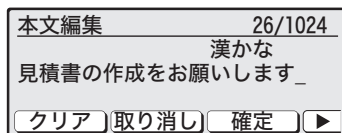
(3) 件名を入力し、[確定]を押します。



- ・ 全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

(4) カーソルキーで“本文”を選択し、[確定]を押します。

(5) 本文を入力し、[確定]を押します。




- ・ 全角で512文字（半角で1,024文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

(6) [閉じる]を押します。

7 宛先を確認します。

(1) [宛先確認]を押します。



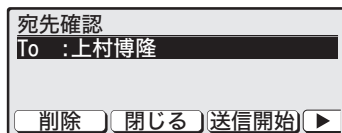
(2) 宛先を確認します。



- ・ 宛先形態を変更する場合は、カーソルキーで変更する宛先を選択し、[To/Cc/Bcc]を押します。
- ・ 設定した宛先を削除する場合は、カーソルキーで宛先を選択し、[削除]を押します。“削除しますか？”というメッセージが表示されますので、[はい]を押します。

8 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

“読取中”というメッセージが表示され、原稿の読み取りが行われます。



補足

- ・ 宛先確認がONになっている場合、手順7を行わずに手順8で〈スタート〉を押すと、手順7の(2)の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

9 次の原稿を読み取るかどうかを選択します。

<次の原稿を読み取らない場合>

原稿読み取り中に「次の原稿」を押し、表示を“なし”に設定します。

メール送信		読取中	
0001:上村博隆			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	次の原稿		
OFF	なし		

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は「次の原稿」の表示はあらかじめ“なし”が設定されています。

<次の原稿を読み取る場合>

(1) 原稿読み取り中に「次の原稿」を押し、表示を“あり”に設定します。

メール送信		読取中	
0001:上村博隆			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	次の原稿		
OFF	あり		

補足

ガラス面に原稿をセットした場合、「次の原稿」の表示はあらかじめ“あり”が設定されています。

(2) “次の原稿をセットしてください”というメッセージが表示されますので、次の原稿をセットし、「読取開始」を押します。

新規の文書として送信する場合は、「▶」を押し、「新規文書」を押します。

この場合、それまでに読み取られた原稿は送信されます。

次の原稿をセットしてください			
0001:上村博隆			
A4 標準 P001		メモリ残量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

次の原稿が読み取られます。

(3) 読み取りを完了して送信する場合は、「送信開始」を押します。

次の原稿をセットしてください			
0001:上村博隆			
A4 標準 P003		メモリ残量 99%	
送信証	読取開始	送信開始	▶
OFF			1/3

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

文書に送信確認証を添付する場合は、[送信証] を押し、表示を“ON” に設定します。

メール送信		読取中
0001: 上村博隆		
A4 標準 P001		メモリ残量 99%
送信証	次の原稿	
ON	あり	

前回送信した宛先を使って送信する

前回送信した宛先を設定し、再送信できます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 〈応用機能〉を押します。

3 “メール再送” を選択し、[確定] を押します。

インターネットファクスメニュー		◀ 1/3 ▶
メール再送	済スタンプ	
Is 短縮送信	送付案内書	
発信元名	送信確認証	
機器設定	閉じる	確定

4 必要に応じて、電子メールの件名と本文を入力します。

入力のしかたについては、2-3 ページを参照してください。

5 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。

メール送信できます	ファクス待機
2011年 3月17日(木) 13:30 メモリ残量100%	
宛先確認で同報を 確認できます	宛先確認 ▶
	1/4

6 [送信開始] または 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、前回送信した宛先に文書が再送信されます。

補足

- ・ 宛先確認が ON になっている場合、手順 5 を行わずに手順 6 で〈スタート〉を押すと、手順 5 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

履歴を使って送信する

送信履歴を使って宛先を設定し、送信できます。履歴に残るのは、テンキーから直接入力したメールアドレスのみです。

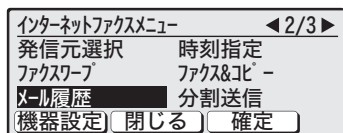
- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 〈応用機能〉を押します。

3 カーソルキーで“メール履歴”を選択し、[確定]を押します。



4 カーソルキーで送信する宛先を選択し、[確定]を押します。



5 電子メールアドレスを変更する場合はメールアドレスを再入力し、[確定]を押します。

変更しない場合はそのまま[確定]を押します。



6 [閉じる]を押します。

7 必要に応じて、電子メールの件名と本文を入力します。

入力のしかたについては、2-3 ページを参照してください。

8 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。



9 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、指定した宛先に文書が送信されます。

補足

- 宛先確認が ON になっている場合、手順 8 を行わずに手順 9 で〈スタート〉を押すと、手順 8 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

ファイル形式を選択して送信する

電子メールに添付する画像のファイル形式を選択して送信できます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

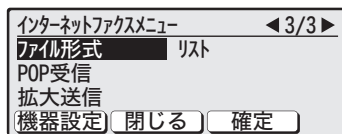
必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 宛先を設定します。

設定のしかたについては、“基本的な送信のしかた”の該当する送信方法のページを参照してください。

3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで“ファイル形式”を選択し、[確定] を押します。



5 カーソルキーでファイル形式を選択し、[確定] を押します。



6 [閉じる] を押します。

7 必要に応じて、電子メールの件名と本文を入力します。

入力のしかたについては、2-3 ページを参照してください。

8 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。



9 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、指定した宛先に文書が送信されます。

補足

- 宛先確認が ON になっている場合、手順 8 を行わずに手順 9 で〈スタート〉を押すと、手順 8 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

大量の文書をページごとに送信する（分割送信）

読み取った複数の文書をページごとに分割し、それぞれ個別の電子メールとして送信できます。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

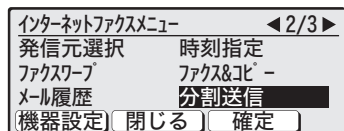
必要に応じて、画質、濃度および読取サイズを設定します。設定のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

2 宛先を設定します。

設定のしかたについては、“基本的な送信のしかた”の該当する送信方法のページを参照してください。

3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで“分割送信”を選択し、[確定] を押します。



5 カーソルキーで“ON”を選択し、[確定] を押します。



- 6 [閉じる] を押します。
- 7 必要に応じて、電子メールの件名と本文を入力します。
入力のしかたについては、2-3 ページを参照してください。
- 8 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。
- 9 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、指定した宛先に文書が分割して送信されます。

補足

- ・宛先確認が ON になっている場合、手順 8 を行わずに手順 9 で〈スタート〉を押すと、手順 8 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

POP 受信のしかた

POP を使用したインターネットファクスの受信方法には、下記の 2 通りがあります。

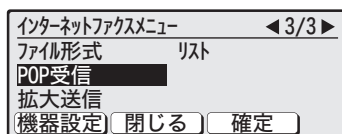
(1) 指定した時間間隔で受信を開始する

(2) ユーザーが任意に受信を開始する

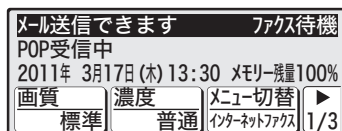
一日の受信件数が少ない場合や、早急に受信確認をしたい場合は、上記 (2) をご使用ください。本書では、上記 (2) の方法についてのみ説明します。

- ファクスモードになっていない場合は、〈ファクス〉を押してファクスモードに切り替えます。

- 1 〈応用機能〉を押します。
- 2 カーソルキーで“POP 受信”を選択し、[確定] を押します。



“POP 受信中” というメッセージが表示されます。



ネットワークスキャン

スキャン文書を共有フォルダーに保存する

文書をスキャンし、ネットワーク上の共有フォルダーに保存できます。

- Scan to folder 機能を使用するためには、ご使用のコンピューターで共有フォルダーの設定を行う必要があります。
- フォルダー・ショートカットの登録は、Information server +Plus II の“オプション”画面－[フォルダー]で登録します。
(リファレンスマニュアル “設定のしかた”－“機能を設定する”－“フォルダー・ショートカットの登録”参照)
- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

2

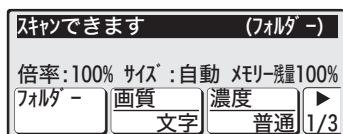
本体の操作

1 原稿をセットします。

2 [フォルダー] を押します。



3 [フォルダー] を押します。



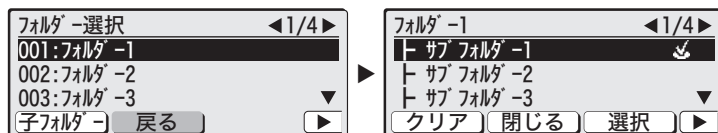
4 カーソルキーで文書を保存する共有フォルダーを選択し、[選択]を押します。

複数の共有フォルダーを設定する場合は、この操作を繰り返します。

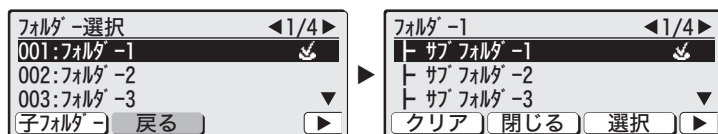


補足

- 共有フォルダーの直下に子フォルダーがある場合は、その子フォルダーを呼び出して保存先に設定できます。
共有フォルダーを反転表示にして、[子フォルダー] を押すと、共有フォルダー直下の子フォルダーが表示されます。(子フォルダー表示は1階層までです。)
- [選択] を押すと、子フォルダーを選択できます。取り消す場合は、[クリア] を押します。



- 共有フォルダーと子フォルダーの両方を保存先に設定する場合は、共有フォルダーを選択してチェックを入れた後に子フォルダーも選択します。子フォルダーだけに保存する場合は、共有フォルダーを選択せず(チェックを外す)に子フォルダーを選択します。



- [戻る] を押すと、共有フォルダー画面に戻ります。[閉じる] を押すと、待機画面に戻ります。

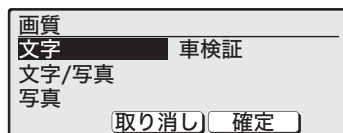
子フォルダーが無い場合は"子フォルダーが見つかりません"と表示されます。フォルダー共有設定やネットワーク環境に問題がある場合は、"検索エラー"と表示されます。

5 [閉じる] を押します。

6 スキャン文書の画質を設定します。

(1) [▶] を押し、[画質] を押します。

(2) カーソルキーで画質を選択し、[確定] を押します。



7 スキャン文書の濃度を設定します。

(1) [濃度] を押します。

(2) [◀][▶]またはカーソルキーの◀▶で濃度を選択し、[確定]を押します。



8 スキャン文書の解像度を設定します。

(1) [▶] を押し、[解像度] を押します。

(2) カーソルキーで解像度を選択し、[確定] を押します。



9 スキャン文書の読取サイズを設定します。

(1) [読取サイズ] を押します。

(2) カーソルキーで読取サイズを選択し、[確定] を押します。

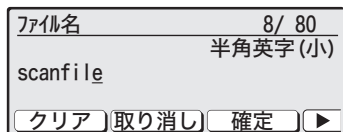


10 スキャン文書のファイル名を設定します。

(1) <応用機能>を押します。

(2) カーソルキーで“ファイル名”を選択し、[確定]を押します。

(3) テンキーでファイル名を入力し、[確定]を押します。



全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

補足

- Information server +Plus II の [スキャン文書保存] でファイル名を登録している場合、[ファイル名] を押すと、登録している内容からファイル名を選択できます。(リファレンスマニュアル “設定のしかた” — “機能を設定する” — “スキャン保存機能の登録” 参照)

ファイル名 8/ 80 半角英字 (小) scanfile <input type="button" value="入力モード"/> <input type="button" value="空白"/> <input type="button" value="ファイル名"/>	▶	ファイル名 ◀1/2▶ 001:見積書 002:請求書 003:伝票 <input type="button" value="取り消し"/> <input type="button" value="確定"/>
--	---	--

- ファイル名は複数挿入できます。ファイル名を挿入した場合、区切りとして "_" を挿入します。

ファイル名 ◀1/2▶ 001:見積書 002:請求書 003:伝票 <input type="button" value="取り消し"/> <input type="button" value="確定"/>	▶	ファイル名 20/ 80 半角英字 (小) scanfile_伝票_請求書 <input type="button" value="入力モード"/> <input type="button" value="空白"/> <input type="button" value="ファイル名"/>
--	---	--

- [日付挿入] を押すと、現在の日付を挿入できます。日付の表示形式は変更することができます。(1-30 ページ)

ファイル名 8/ 80 半角英字 (小) scanfile_ <input type="button" value="内容表示"/> <input type="button" value="日付挿入"/>	▶	ファイル名 16/ 80 半角英字 (小) scanfile20110317_ <input type="button" value="内容表示"/> <input type="button" value="日付挿入"/>
---	---	--

- 入力した内容をすべて表示する場合は、[内容表示] を押します。

ファイル名 38/ 80 半角英字 (小) scanfile_伝票_請求書_20110317- <input type="button" value="内容表示"/> <input type="button" value="日付挿入"/>	▶	scanfile_伝票_請求書_20110201-20110217 <input type="button" value="閉じる"/> 1/ 38
--	---	---

11 保存先を確認します。

- (1) [宛先確認] を押します。

スキャンできます (フォルダ) 倍率:100% サイズ:自動 メモリ量100% 宛先確認で同報を 宛先確認 確認できます 1/4

- (2) 保存先を確認します。

宛先確認 001:フォルダ-1 <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/>
--

設定した保存先を削除する場合は、カーソルキーで保存先を選択し、[削除] を押します。“削除しますか?” というメッセージが表示されますので、[はい] を押します。

補足

- ・ スキャン文書を共有フォルダーに保存すると同時に、電子メールで送信することができます。

[モード切替] を押して“メール”モードにした後、電子メール宛先を設定します。電子メール宛先の設定のしかたについては、“スキャン文書を電子メール送信する”の手順 3 (2-25 ページ) を参照してください。

スキャンできます		(フォルダー)	
倍率:100%	サイズ:自動	メモリ量:100%	
解像度 200dpi	読取サイズ 自動	モード切替 フォルダー	▶ 3/4

12 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

“原稿読み取り中です” というメッセージが表示され、原稿の読み取りが行われます。

宛先確認
001:フォルダー1
<input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/>

補足

- ・ 宛先確認が ON になっている場合、手順 11 を行わずに手順 12 で〈スタート〉を押すと、手順 11 の (2) の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

補足

- ・ ガラス面から原稿を読み取った場合で原稿サイズを検知できないときは、“蓄積原稿サイズ”画面が表示されます。

原稿サイズを指定し、[確定] を押します。

蓄積原稿サイズ	
B 4	A 5
A 4	B 5
B 5	A 5
<input type="button" value="取り消し"/> <input type="button" value="確定"/>	

- ・ 原稿スキャン時にメモリー容量をオーバーしたときは、下記のようなメッセージが表示されます。

この場合は、メモリーが空ののを待ち、スキャンし直してください。

メモリオーバーしました		(フォルダー)	
倍率:100%	サイズ:自動	メモリ量:1%	
フォルダー	画質	濃度	▶
	文字	普通	1/3

また、複数枚のスキャン時、2 枚目以降にメモリー容量をオーバーした場合は、下記のようなメッセージが表示されます。

[はい] を押すと、蓄積された原稿のスキャンが有効になります。

[いいえ] を押すと、無効になり蓄積された原稿は消去されます。

メモリーオーバーしました

原稿蓄積枚数: 3枚

蓄積分を有効にしますか？

はい

いいえ

※ “データサイズが制限を超えました” というメッセージが表示されることがあります。この場合は、画質や濃度を調整したり、複数回に分けてスキャンを行うなどの処置を行ってください。

13 次の原稿を読み取るかどうかを選択します。

＜次の原稿を読み取らない場合＞

原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を “なし” に設定します。

原稿読み取り中です

フォルダ -1

A4 文字 P001

メモリー残量 99%

次の原稿

なし

原稿が読み取られ、指定した保存先に転送されます。

補足

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は [次の原稿] の表示はあらかじめ “なし” が設定されています。

＜次の原稿を読み取る場合＞

(1) 原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を “あり” に設定します。

原稿読み取り中です

フォルダ -1

A4 文字 P001

メモリー残量 99%

次の原稿

あり

補足

ガラス面に原稿をセットした場合、[次の原稿] の表示はあらかじめ “あり” が設定されています。

(2) “次の原稿をセットしてください” というメッセージが表示されますので、次の原稿をセットし、[読取開始] を押します。

新規の文書として読み取る場合は、[新規文書] を押します。

次の原稿をセットしてください

フォルダ -1

A4 文字 P001

メモリー残量 99%

読取開始

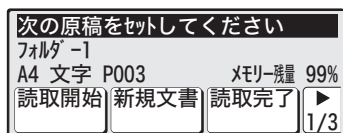
新規文書

読取完了

▶ 1/3

“原稿読み取り中です” と表示され、次の原稿が読み取られます。

(3) 読み取りを完了して転送する場合は、[読取完了] を押します。



原稿が読み取られ、指定した保存先に転送されます。

補足

- ・“データ転送中”というメッセージが表示されている時は、次の原稿のスキャンはできません。
- ・分割送信を“ON”に設定している場合、[新規文書]は表示されません。

スキャン文書を電子メール送信する

文書をスキャンし、直接電子メールで送信できます。

- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

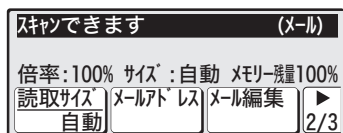
2 [メール] を押します。



3 スキャン文書を送信する電子メール宛先を設定します。

〈電子メールアドレスを入力する場合〉

(1) [▶] を押し、[メールアドレス] を押します。



(2) 文字キーで電子メールアドレスを入力し、[確定] を押します。

複数の宛先を設定する場合は、(1)、(2) の操作を繰り返します。



- ・ 半角英数字で 50 文字まで入力できます。
- ・ [入力モード] を押すと、文字キーの入力モードを切り替えることができます。
カーソルキーで入力モードを選択し、[確定] を押します。
- ・ [To/Cc/Bcc] を押すたびに、宛先形態を切り替えることができます。

- ・[クリア]を押すと、入力した文字が1文字ずつ消去されます。
- ・[取り消し]を押すと、入力を取り消され、スキャン待機画面（メール）に戻ります。

＜宛先表から選択する場合＞

- (1) カーソルキー（▼）を押した後、送信する宛先を選択し、[選択]を押します。
複数の宛先を設定する場合は、この操作を繰り返します。

- (2) [閉じる]を押します。

＜Is+Plus 短縮送信を使う場合＞

- (1) 〈応用機能〉を押します。
- (2) カーソルキーで“Is 短縮送信”を選択し、[確定]を押します。
- (3) テンキーまたはカーソルキーで宛先表番号を入力し、[確定]を押します。
複数の宛先を設定する場合は、(1)～(3)の操作を繰り返します。

4 電子メールの件名と本文を入力します。

- (1) [▶]を押し、[メール編集]を押します。

- (2) “件名”が選択されていることを確認し、[▶]を押した後、[確定]を押します。

補足

メール定型文の初期値は変更することができます。(1-12 ページ)

- (3) 件名を入力し、[確定]を押します。

- ・全角で40文字（半角で80文字）まで入力できます。
- ・文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

- (4) カーソルキーで“本文”を選択し、[確定]を押します。

(5) 本文を入力し、[確定] を押します。

- ・ 全角で 512 文字（半角で 1,024 文字）まで入力できます。
- ・ 文字入力のしかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

(6) [▶] を押し、[閉じる] を押します。

補足

- ・ 入力した件名や本文の内容を全文表示する場合は、[内容表示] を押します。

内容が全文表示されます。

- ・ カーソルキーを押すと、カーソルが移動します。
- ・ [閉じる] を押すと、“メール編集”画面に戻ります。
- ・ 件名と本文の入力は、“定型文”を利用して行うことができます。
定型文は、Information server +Plus II であらかじめ登録しておきます。
(リファレンスマニュアル “設定のしかた” — “接続環境を設定する” — “メールオプションの設定” 参照)

(1) “メール編集”画面で、[定型選択] を押します。

(2) カーソルキーで登録されている定型文を選択し、[確定] を押します。

“固定文”を選択した場合は、以下の内容が設定されます。

件名: E-mail Message

本文: これはファクシミリで送信された電子メールです。

添付ファイルを参照してください。

5 スキャン文書の画質を設定します。

(1) [▶] を押し、[画質] を押します。

(2) カーソルキーで画質を選択し、[確定] を押します。



6 スキャン文書の濃度を設定します。

(1) [濃度] を押します。

(2) [◀][▶]またはカーソルキーの<◀><▶>で濃度を選択し、[確定]を押します。



7 スキャン文書の解像度を設定します。

(1) [解像度] を押します。

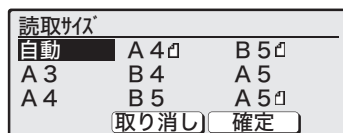
(2) カーソルキーで解像度を選択し、[確定] を押します。



8 スキャン文書の読取サイズを設定します。

(1) [▶] を押し、[読取サイズ] を押します。

(2) カーソルキーで読取サイズを選択し、[確定] を押します。



9 スキャン文書のファイル名を設定します。

- (1) 〈応用機能〉を押します。
- (2) カーソルキーで“ファイル名”を選択し、[確定]を押します。
- (3) テンキーでファイル名を入力し、[確定]を押します。

ファイル名	8/ 80
半角英字 (小)	
scanfile	
クリア	取り消し
確定	▶

全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

補足

- ・ Information server +Plus II の [スキャン文書保存] でファイル名を登録している場合、[ファイル名] を押すと、登録している内容からファイル名を選択できます。（リファレンスマニュアル “設定のしかた” - “機能を設定する” - “スキャン保存機能の登録” 参照）

ファイル名	8/ 80
半角英字 (小)	
scanfile	
入力モード	空白
ファイル名	▶

ファイル名	◀1/2▶
001:見積書	
002:請求書	
003:伝票	
取り消し	確定

- ・ ファイル名は複数挿入できます。ファイル名を挿入した場合、区切りとして“_”を挿入します。

ファイル名	◀1/2▶
001:見積書	
002:請求書	
003:伝票	
取り消し	確定

ファイル名	20/ 80
半角英字 (小)	
scanfile_伝票_請求書	
入力モード	空白
ファイル名	▶

- ・ [日付挿入] を押すと、現在の日付を挿入できます。日付の表示形式は変更することができます。（1-30 ページ）

ファイル名	8/ 80
半角英字 (小)	
scanfile_	
内容表示	日付挿入
▶	

ファイル名	16/ 80
半角英字 (小)	
scanfile20110317_	
内容表示	日付挿入
▶	

- ・ 入力した内容をすべて表示する場合は、[内容表示] を押します。

ファイル名	38/ 80
半角英字 (小)	
scanfile_伝票_請求書_20110317-	
内容表示	日付挿入
▶	

scanfile_伝票_請求書_20110201-20110217	
閉じる	1/ 38

10 宛先を確認します。

(1) [宛先確認] を押します。

(2) 宛先を確認します。



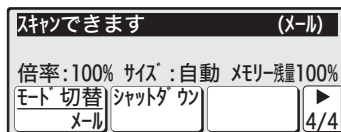
宛先確認	
To :muraki@abc.co.jp	
To :nakata@xyz.co.jp	
<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/>

- 宛先形態を変更する場合は、カーソルキーで変更する宛先を選択し、[To/Cc/Bcc] を押します。
- 入力した宛先を削除する場合は、カーソルキーで宛先を選択し、[削除] を押します。“削除しますか？”というメッセージが表示されますので、[はい] を押します。

補足

- スキャン文書を電子メール送信すると同時に、共有フォルダーに保存することができます。

[モード切替] を押して“フォルダー”モードにした後、保存先の共有フォルダーを設定します。



スキャンできます (X-ℓ)	
倍率:100%	サイズ:自動
メモリ量100%	
モード切替	シャッター
メール	4/4

11 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

“原稿読み取り中です”というメッセージが表示され、原稿の読み取りが行われます。



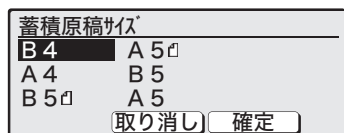
宛先確認	
To :muraki@abc.co.jp	
<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="送信開始"/>

補足

- 宛先確認が ON になっている場合、手順 10 を行わずに手順 11 で〈スタート〉を押すと、手順 10 の (2) の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

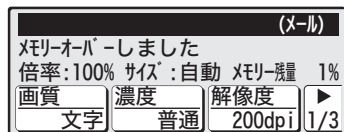
補足

- ガラス面から原稿を読み取った場合で原稿サイズを検知できないときは、“蓄積原稿サイズ”画面が表示されます。原稿サイズを指定し、[確定] を押します。



- ・ 原稿スキャン時にメモリー容量をオーバーしたときは、下記のようなメッセージが表示されます。

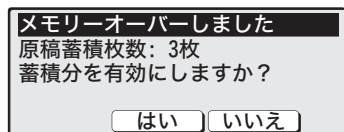
この場合は、メモリーが空くのを待ち、スキャンし直してください。



また、複数枚のスキャン時、2枚目以降にメモリー容量をオーバーした場合は、下記のようなメッセージが表示されます。

「はい」を押すと、蓄積された原稿のスキャンが有効になります。

「いいえ」を押すと、無効になり蓄積された原稿は消去されます。



※ “データサイズが制限を超えました” というメッセージが表示されることがあります。この場合は、画質や濃度を調整したり、複数回に分けてスキャンを行うなどの処置を行ってください。

12 次の原稿を読み取るかどうかを選択します。

＜次の原稿を読み取らない場合＞

原稿読み取り中に「次の原稿」を押し、表示を“なし”に設定します。



原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は「次の原稿」の表示はあらかじめ“なし”が設定されています。

＜次の原稿を読み取る場合＞

(1) 原稿読み取り中に [次の原稿] を押し、表示を“あり”に設定します。

原稿読み取り中です	
muraki@abc. co. jp	
A4 文字 P001	メモリ残量 99%
次の原稿	
あり	

補足

ガラス面に原稿をセットした場合、[次の原稿] の表示はあらかじめ“あり”が設定されています。

(2) “次の原稿をセットしてください”というメッセージが表示されますので、次の原稿をセットし、[読取開始] を押します。

新規の文書として読み取る場合は、[新規文書] を押します。

次の原稿をセットしてください	
muraki@abc. co. jp	
A4 文字 P001	メモリ残量 99%
読取開始	新規文書
読取完了	▶
1/3	

“原稿読み取り中です”と表示され、次の原稿が読み取られます。

(3) 読み取りを完了して送信する場合は、[読取完了] を押します。

次の原稿をセットしてください	
muraki@abc. co. jp	
A4 文字 P003	メモリ残量 99%
読取開始	新規文書
読取完了	▶
1/3	

原稿が読み取られ、指定した宛先に送信されます。

補足

- ・ “データ転送中” というメッセージが表示されている時は、次の原稿のスキャンはできません。
- ・ 分割送信を “ON” に設定している場合、[新規文書] は表示されません。

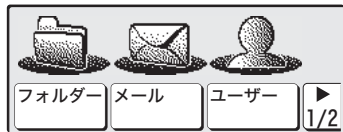
スキャン文書を登録ユーザーに転送する

文書をスキャンし、Information server +Plus II 登録ユーザーの“スキャン”文書一覧に転送できます。

- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

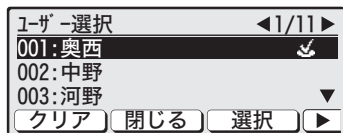
1 原稿をセットします。

2 [ユーザー] を押します。



3 カーソルキーで文書を転送する登録ユーザーを選択し、[選択] を押します。

ユーザーを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。



ユーザーグループを選択する場合は、[グループ] を押し、カーソルキーでグループを選択します。

4 [閉じる] を押します。

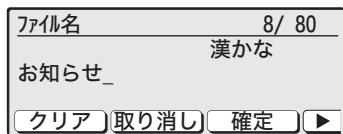
5 必要に応じ、スキャン文書の画質、濃度、解像度および読取サイズを設定します。

6 スキャン文書のファイル名を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“ファイル名”を選択し、[確定] を押します。

(3) テンキーでファイル名を入力し、[確定] を押します。



全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

補足

Information server +Plus II の [スキャン文書保存] でファイル名を登録している場合、[ファイル名] を押すと、登録している内容からファイル名を選択できます。
(リファレンスマニュアル “機能を設定する” - “スキャン保存機能の登録” 参照)

ファイル名	0/ 80
漢かな	
—	
入力モード	空白
ファイル名	▶

7 文書分類を設定します。

- (1) 〈応用機能〉を押します。
- (2) カーソルキーで“文書分類”を選択し、[確定]を押します。
- (3) テンキーで文書分類を入力し、[確定]を押します。

文書分類	4/ 20
漢かな	
連絡_	
クリア	取り消し
確定	▶

全角で 10 文字（半角で 20 文字）まで入力できます。

補足

Information server +Plus II の [スキャン文書保存] で文書分類を登録している場合、[文書分類] を押すと、登録している内容から文書分類を選択できます。
(リファレンスマニュアル “設定のしかた” - “機能を設定する” - “スキャン保存機能の登録” 参照)

文書分類	0/ 20
漢かな	
—	
入力モード	空白
文書分類	▶

8 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。

9 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

宛先確認
001:奥西
削除
閉じる
送信開始

原稿の読み取りが開始され、指定したユーザーに文書が転送されます。

補足

- ・宛先確認が ON になっている場合、手順 8 を行わずに手順 9 で〈スタート〉を押すと、手順 8 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

スキャン文書を掲示板に掲示する

スキャンした文書を、Information server +Plus II の“掲示板”文書一覧に転送し、掲示できます。

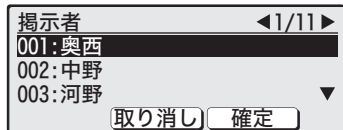
- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

2 [▶]、[掲示板] と押します。



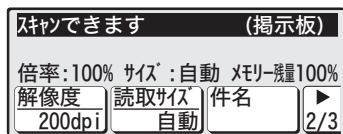
3 カーソルキーで掲示者を選択し、[確定] を押します。



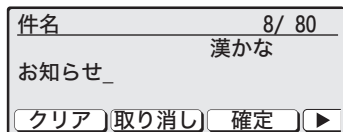
4 必要に応じ、スキャン文書の画質、濃度、解像度および読取サイズを設定します。

5 件名を設定します。

(1) [▶] を押し、[件名] を押します。



(2) テンキーで件名を入力し、[確定] を押します。



全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

補足

Information server +Plus II の [スキャン文書保存] で件名を登録している場合、[件名] を押すと、登録している内容から件名を選択できます。

(リファレンスマニュアル “機能を設定する” - “スキャン保存機能の登録” 参照)

件名	0/ 80
漢かな	
—	
入力モード	空白 件名 ▶

6 文書分類を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“文書分類”を選択し、[確定]を押します。

(3) テンキーで文書分類を入力し、[確定]を押します。

文書分類	4/ 20
漢かな	
連絡_	
クリア	取り消し 確定 ▶

全角で 10 文字（半角で 20 文字）まで入力できます。

7 掲示期間を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“掲示期間”を選択し、[確定]を押します。

(3) 掲示期間を設定しない場合（無期限に掲示する場合）は“なし”を選択し、[確定]を押します。

掲示期間を設定する場合は“あり”を選択し、[確定]を押します。

掲示期間
なし
あり
取り消し 確定

(4) “あり”を選択した場合は、テンキーまたはカーソルキーで掲示期間を設定した後、[確定]を押します。

掲示期間	(01-99) 日
03 日	
取り消し	確定

1 ～ 99 日の範囲で設定できます。

8 コメントを設定します。

- (1) 〈応用機能〉を押します。
- (2) カーソルキーで“コメント”を選択し、[確定]を押します。
- (3) コメントを入力し、[確定]を押します。

コメント	18/1024
漢かな	
お知らせ事項です。 _	
クリア	取り消し
確定	▶

全角で512文字（半角で1,024文字）まで入力できます。

9 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、Information server +Plus IIの“掲示板”文書一覧に文書が転送されます。

スキャン文書を回覧／配信する

スキャンした文書を、Information server +Plus IIの“回覧／配信”文書一覧に転送し、回覧／配信できます。

- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

2 [▶]、[回覧／配信] と押します。

		
掲示板	回覧/配信	処理依頼
▶ 2/2		

3 カーソルキーで発行者（回覧元）を選択し、[確定]を押します。

発行者	◀1/11▶
001:奥西	
002:中野	
003:河野	▼
取り消し	確定

4 カースルキーで回覧先を選択し、[選択] を押します。

複数の回覧先を選択する場合は、この操作を繰り返します。



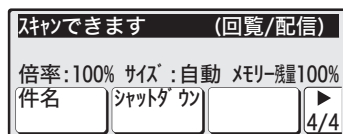
ユーザーグループを選択する場合は、[グループ] を押し、カーソルキーでグループを選択します。

5 [閉じる] を押します。

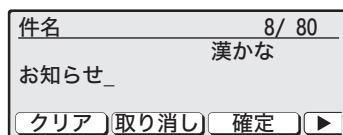
6 必要に応じ、スキャン文書の画質、濃度、解像度および読取サイズを設定します。

7 件名を設定します。

(1) [▶] を押し、[件名] を押します。



(2) テンキーで件名を入力し、[確定] を押します。



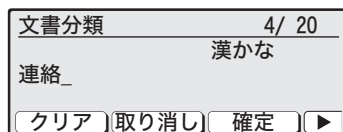
全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

8 文書分類を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カースルキーで“文書分類”を選択し、[確定] を押します。

(3) テンキーで文書分類を入力し、[確定] を押します。



全角で 10 文字（半角で 20 文字）まで入力できます。

9 保存期限を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“保存期限”を選択し、[確定]を押します。

(3) 保存期限を設定しない場合（無期限に保存する場合）は“なし”を選択し、[確定]を押します。

保存期限を設定する場合は“あり”を選択し、[確定]を押します。

保存期間

なし

あり

取り消し 確定

10 コメントを設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“コメント”を選択し、[確定]を押します。

(3) コメントを入力し、[確定]を押します。

全角で 512 文字（半角で 1,024 文字）まで入力できます。

コメント 18/1024

漢かな

お知らせ事項です。_

クリア 取り消し 確定 ▶

11 [宛先確認] を押し、宛先を確認します。

12 [送信開始] または〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、Information server +Plus II の“回覧／配信”文書一覧に文書が転送されます。

補足

- 宛先確認が ON になっている場合、手順 11 を行わずに手順 12 で〈スタート〉を押すと、手順 11 の宛先確認が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

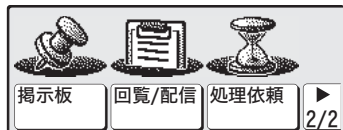
スキャン文書を処理依頼する

スキャンした文書を、Information server +Plus II の“処理依頼”文書一覧に転送し、処理依頼できます。

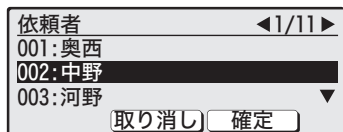
- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

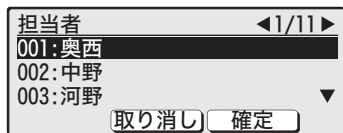
2 [▶]、[処理依頼] と押します。



3 カーソルキーで処理依頼者を選択し、[確定] を押します。



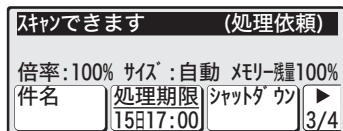
4 カーソルキーで処理担当者を選択し、[確定] を押します。



5 必要に応じ、スキャン文書の画質、濃度、解像度および読取サイズを設定します。

6 件名を設定します。

(1) [▶] を押し、[件名] を押します。



(2) テンキーで件名を入力し、[確定] を押します。

件名	8/ 80
漢かな	
処理依頼	
クリア	取り消し 確定 ▶

全角で 40 文字（半角で 80 文字）まで入力できます。

7 文書分類を設定します。

(1) 〈応用機能〉を押します。

(2) カーソルキーで“文書分類”を選択し、[確定]を押します。

(3) テンキーで文書分類を入力し、[確定]を押します。

文書分類	4/ 20
漢かな	
依頼	
クリア	取り消し 確定 ▶

全角で 10 文字（半角で 20 文字）まで入力できます。

8 処理期限を設定します。

(1) [▶] を押し、[処理期限] を押します。

スキャンできます (処理依頼)	
倍率:100% サイズ:自動 メモリ残量100%	
件名	処理期限
15日17:00	シャットダウン ▶
3/4	

(2) テンキーまたはカーソルキーで処理期限を設定し、[確定]を押します。

処理期限(1-31日)
20日 15:00
取り消し 確定

1 ～ 31 日および 00:00 ～ 23:59 の範囲で設定できます。

9 コメントを設定します。

- (1) 〈応用機能〉を押します。
- (2) カーソルキーで“コメント”を選択し、[確定]を押します。
- (3) コメントを入力し、[確定]を押します。

コメント	20/1024		
漢かな			
処理をお願いします。 _			
クリア	取り消し	確定	▶

全角で512文字（半角で1,024文字）まで入力できます。

10 〈スタート〉を押します。

原稿の読み取りが開始され、Information server +Plus IIの“処理依頼”文書一覧に文書が転送されます。

補足

- 宛先確認がONになっている場合、手順10で〈スタート〉を押すと宛先確認の画面が表示されます。宛先確認については、本体の取扱説明書を参照してください。

文書を拡大／縮小してスキャンする

文書を任意の倍率に拡大／縮小してスキャンできます。

- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

1 原稿をセットします。

2 任意の操作を選択します。

3 〈応用機能〉を押します。

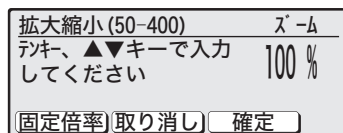
4 カーソルキーで“拡大縮小”を選択し、[確定]を押します。

5 カーソルキーで拡大倍率または縮小倍率を選択し、[確定]を押します。

拡大縮小:100%	定形	
等倍	(100%) ▲	
A3→B4, A4→B5	(86%)	
B4→A4, B5→A5	(81%) ▼	
ズーム	取り消し	確定

補足

[ズーム] を押すと、任意の倍率を設定できます。
テンキーまたはカーソルキーで倍率を入力し、[確定] を押します。
[固定倍率] を押すと、元の画面に戻ります。



6 任意の操作を行い、文書をスキャンし転送します。

2

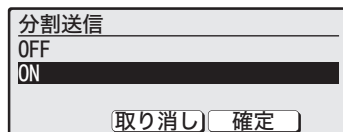
大量の文書をページごとにスキャンする（分割送信）

スキャンした複数の文書をページごとに分割し、個別の文書としてスキャンし送信／転送します。

- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

本体の操作

- 1 原稿をセットします。
- 2 任意の操作を選択します。
- 3 〈応用機能〉を押します。
- 4 カーソルキーで“分割送信”を選択し、[確定] を押します。
- 5 カーソルキーで“ON”を選択し、[確定] を押します。



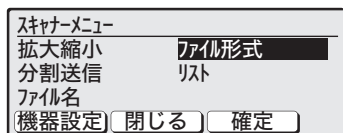
- 6 任意の操作を行い、文書をスキャンし転送します。

ファイル形式を選択してスキャンする

スキャン文書のファイル形式を選択できます。

- この機能は、以下の操作時には設定できません。
 - ・ スキャン文書を登録ユーザーに転送する
 - ・ スキャン文書を掲示板に掲示する
 - ・ スキャン文書を回覧／配信する
 - ・ スキャン文書を処理依頼する
- スキャナーモードになっていない場合は、〈スキャナー〉を押してスキャナーモードに切り替えます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 任意の操作を選択します。
- 3 〈応用機能〉を押します。
- 4 カーソルキーで“ファイル形式”を選択し、[確定]を押します。



- 5 カーソルキーでスキャン文書のファイル形式を選択し、[確定]を押します。



“TIFF” または “PDF” から選択できます。

- 6 任意の操作を行い、文書をスキャンし転送します。

第 3 章

こんなときには

本章では、Information server +Plus II が正常に動作しない現象を例に挙げ、その対処方法について説明します。ここで説明していないエラーメッセージおよびエラーコードについては、複合機本体の取扱説明書を参照してください。

また、ここで説明している対処方法で問題が解決されない場合は、サービス実施店までご連絡ください。

エラーメッセージ	3-2
エラーコード	3-3
画面操作上でのトラブル	3-6
プリンターでのトラブル	3-12
『Is+Plus2 インフォモニター』でのトラブル	3-14
『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』でのトラブル	3-15
『Is+Plus2 に接続できない』	3-16

エラーメッセージ

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
ID 番号を確認してください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相手先に登録されているファクス番号の下 4 桁と入力した番号の下 4 桁が一致しません。 ▶ ID 番号を確認してください。 2. 相手先にファクス番号が登録されていません。 ▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のファクス番号の確認を依頼してください。 	T.2.2
パスコードを確認してください	<ol style="list-style-type: none"> ▶ 相手側機の確認を依頼してください。 ▶ パスコードの確認を依頼してください。 	T.2.2
相手側機を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態などの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1
受信原稿を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信してください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶ 再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶ 再度、送信してください。 3. “/P” “/T” の箇所が発信音がかえってきませんでした。 ▶ “/P” “/T” の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号が不要な場合もあります。） 	T.3.1 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう一度ダイヤルしてください	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶ 改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. ダイヤル種別が正しいか確認してください。（本体の取扱説明書参照） 	D.0.2
ダイヤル番号が登録されていません	▶ 短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしましたので、再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G 3 送 信	D.0.1	発信と着信が同時に起きました	▶再送信してください。
	D.0.2	相手が話中	▶再送信してください。
	D.0.3	〈ストップ〉が押された	▶再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	ダイヤルトーンが検出できません “/P” “/I” の箇所が発音音がかえってこなかった	▶回線接続コードが正しく接続されているか確認してください。 ▶ダイヤルトーンの検出設定を確認してください。 ▶“/P” “/I” の位置を確認して再送信してください。(交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。)

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G 3 送 信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時に〈ストップ〉を押した（通信管理記録のみ表示）	▶再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
		相手側機と設定が合わない	▶相手側の設定を確認してください。相手側で特殊な設定をしている場合は、その設定を解除するよう依頼してください。
	T.2.2	相手側機と設定が合わない	▶相手先の機種および設定状況を確認してください。

3

こんなときには

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G 3 送 信	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶エラーが発生したページより再度送信してください。
		900mm 以上の原稿を送信した	▶1 ページを 900mm 以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプを確認してください”と表示した場合は光源の光量不足	▶電源スイッチを OFF → ON してコピーをとってみてください。 “ランプを確認してください”表示しなければ再度送信してください。コピーでも“ランプを確認してください”表示となる場合は、サービス実施店へご連絡ください。
G 3 送 信	T.3.2	回線障害などが原因で、交信できなかった	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.4.2	相手側で画質異常となった (回線障害などが原因)	▶送信したページはすべて相手側に届いていますが、一部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた (回線障害などが原因)	▶再送信してください。

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
E C M 送 信	T.5.1、 T.5.2、 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた (回線障害などが原因)	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.8.1	受信モードが合わない	▶相手側を確認して下さい。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G 3 受 信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶送信側の操作ミスが考えられます。相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録にのみ記載）	
	R.1.4	受信中に〈ストップ〉を押した（通信管理記録にのみ記載）	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で受信できなかった	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたは〈ストップ〉を押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	▶メモリー残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.3.5	メモリーオーバーで受信できなかった	
E C M 受 信	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.4.4	メモリー容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	▶何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側で〈ストップ〉を押した	▶相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	▶何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

画面操作上でのトラブル

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
『Information server +Plus II』に接続できない。	コンピューター	『Information server +Plus II』のIPアドレスが間違えて入力されていませんか？	『Information server +Plus II』のIPアドレスを確認し、半角文字で正しく入力してください。
		『Information server +Plus II』のネットワーク設定が間違っていないですか？	リファレンスマニュアルを参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。
		ブラウザの設定が間違っているか？	以下の方法により、ブラウザの設定を確認してください。 ・メニューバーの“ツール”－“インターネット オプション”－[接続] タブ－“ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定”－[LAN の設定] ボタンで、プロキシサーバーの設定を確認してください。
		ブラウザのセキュリティ設定が間違っていないですか？	『Is+Plus2に接続できない』(3-16 ページ参照)
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワークカード (LAN カード) が破損していませんか？	ネットワークカードを交換してください。
		Windows のシステムメモリーが不足していませんか？	・ コンピューターのメモリー容量が『Information server +Plus II』の動作環境を満たしているかどうか確認し、満たしていない場合はメモリーを増設してください。 ・ 複数のアプリケーションソフトや不要な常駐ソフトが起動している場合は、終了させてください。
		ユーザー情報は登録されていますか？	『Information server +Plus II』の“ユーザー情報設定”ダイアログで、ユーザー情報を登録してください。
		パスワードを間違えて入力していませんか？	『Information server +Plus II』の“ユーザー情報設定”ダイアログで登録したパスワードを入力してください。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
『Information server +Plus II』に接続できない。	複合機本体	電源がOFFになっていませんか？	電源をONにしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	ネットワーク設定を正しく行ってください（1-3 ページ参照）。
	ネットワーク周辺機器（LAN ハブ、ルーターなど）	電源がOFFになっていませんか？	電源をONにしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク周辺機器が破損していませんか？	機器の他のポートに LAN ケーブルを接続し、正常に動作するか確認してください。動作しない場合は、機器を交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	機器の取扱説明書を参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。
表示されている画面の表の大きさや文字間隔、行間隔がマニュアルの画面と異なる。	コンピューター	指定以外のブラウザを使用していますか？	古いバージョンのブラウザをご使用の場合は、最新のバージョンのブラウザをインストールすることをおすすめします。
表示されている画面の文字の大きさがマニュアルの画面と異なる。	コンピューター	ブラウザの文字サイズが変更されていませんか？	ブラウザの文字サイズ設定で、文字の大きさを調節してください。
文書が開かない。	コンピューター	画像ビューアーはインストールされていますか？	画像ビューアーがインストールされていないと、文書を閲覧することができません。『Information server +Plus II』を終了し、画像ビューアーをインストールしてください。また、画像ビューアーのバージョンが古い場合も同様の状態になる場合があります。この場合は、最新のバージョンの画像ビューアーをインストールし直してください。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
文書が開かない。	コンピュ ーター	オペレーティングシステムで、画像ファイルの拡張子(.TIFFまたは.PDF)の関連付けを行っていますか？	ご使用のコンピューターのオペレーティングシステムの取扱説明書を参照し、拡張子の関連付けを行ってください。
		プラグインはインストールされていますか？	QuickTime、RealOneなどのプラグインや、画像ビューアーがインストールされているかを確認してください。インストールされている場合は、画像ファイルの拡張子の関連付けを行ってください。
ファクス送受信ができない。	コンピュ ーター	LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワークカード(LAN カード)が破損していませんか？	ネットワークカードを交換してください。
		Windows のシステムメモリーが不足していませんか？	コンピューターのメモリー容量が『Information server +Plus II』の動作環境を満たしているかどうかを確認し、満たしていない場合はメモリーを増設してください。 複数のアプリケーションソフトや不要な常駐ソフトが起動している場合は、終了させてください。
	複合機本体	電源がOFFになっていませんか？	電源をONにしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		電話回線ケーブルが外れていませんか？	電話回線ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		電話回線ケーブルが破損していませんか？	電話回線ケーブルを交換してください。
		通信回線設定（ダイヤル、ブッシュ）が間違っていないですか？	通信回線を確認し、正しく設定してください。
		応用ファクス機能（ダイレクトメール防止、閉域通信等）が設定されていませんか？	複合機本体の取扱説明書を参照し、これらの設定を解除してください。
		ネットワーク設定が間違っていないですか？	ネットワーク設定を正しく行ってください（1-3 ページ参照）。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
ファクス送受信ができない。	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど)	電源がOFFになっていませんか？	電源を ON にしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク周辺機器が破損していませんか？	機器の他のポートに LAN ケーブルを接続し、正常に動作するか確認してください。動作しない場合は、機器を交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	機器の取扱説明書を参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。
電子メール送受信ができない。	コンピューター	メールサーバーのアカウント/パスワード設定が間違っていますか？	『Information server +Plus II』の“SMTP/POP 設定”ダイアログで、アカウント/パスワード設定を正しく行ってください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワークカード (LAN カード) が破損していませんか？	ネットワークカードを交換してください。
	複合機本体	電源がOFFになっていませんか？	電源を ON にしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		電話回線ケーブルが外れていませんか？	電話回線ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		電話回線ケーブルが破損していませんか？	電話回線ケーブルを交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	ネットワーク設定を正しく行ってください (1-3 ページ参照)。
	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど)	電源がOFFになっていませんか？	電源を ON にしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク周辺機器が破損していませんか？	機器の他のポートに LAN ケーブルを接続し、正常に動作するか確認してください。動作しない場合は、機器を交換してください。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
電子メール送受信ができない。	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど)	ネットワーク設定が間違っていますか？	機器の取扱説明書を参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。
アプリケーションソフトで作成した文書がファクス／電子メール送信できない。	コンピューター	『KONICA MINOLTA 1341f Fax』はインストールされていますか？	インストールされていないと、アプリケーションソフトで作成した文書の送信はできません。 『Information server +Plus II』を終了し、『KONICA MINOLTA 1341f Fax』をインストールしてください。
		『KONICA MINOLTA 1341f Fax』は選択されていますか？	アプリケーションソフトの印刷メニューから、使用するプリンターを『KONICA MINOLTA 1341f Fax』に設定してください。
		『KONICA MINOLTA 1341f Fax』のポート設定が間違っていますか？	『KONICA MINOLTA 1341f Fax』の“印刷するポート”の設定を確認し、正しい IP アドレスの印刷先ポートを設定してください。
表示されない文書一覧画面 (掲示板、回覧、処理依頼) がある。	コンピューター	文書一覧の機能が“無効”に設定されていますか？	『Information server +Plus II』の各機能設定ダイアログで、機能を“有効”に設定してください。
ファクス受信した文書が配信されない。	コンピューター	受信文書の配信条件設定が間違っていますか？	『Information server +Plus II』の“自動配信設定”ダイアログで、配信条件を正しく設定してください。
	複合機本体	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。
配信した文書が印刷されない。	コンピューター	配信文書のプリント設定が OFF になっていませんか？	『Information server +Plus II』の“自動配信設定”ダイアログで、配信時のプリント設定を ON にしてください。
	複合機本体	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。
スキャンした文書が転送されない。	コンピューター	操作パネルで、転送するユーザーを正しく選択していますか？	ユーザーを正しく選択してください。
スキャンした文書をアプリケーションソフトに取り込めない。	コンピューター	『KONICA MINOLTA TWAIN Connector』はインストールされていますか？	『KONICA MINOLTA TWAIN Connector』がインストールされていないと、スキャンした文書をアプリケーションソフトに取り込むことができません。 『Information server +Plus II』を終了し、『KONICA MINOLTA TWAIN Connector』をインストールしてください。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
スキャンした文書をアプリケーションソフトに取り込めない。	コンピューター	『KONICA MINOLTA TWAIN Connector』が読み込みデバイスとして設定されていますか？	アプリケーションソフトの読み込みデバイスを『KONICA MINOLTA TWAIN Connector』に設定してください。
処理した文書が文書一覧画面に保存されない。	コンピューター	保存文書の容量が複合機本体のメモリー容量をオーバーしていますか？	文書一覧画面でメモリー残量を確認し、文書一覧から不要な文書を削除してメモリー容量を空けてください。

プリンターでのトラブル

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
文書がプリントできない。	コンピュ-ター	LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワークカード (LAN カード) が破損していませんか？	ネットワークカードを交換してください。
		Windows のシステムメモリーが不足していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターのメモリー容量が『Information server +Plus II』の動作環境を満たしているかどうか確認し、満たしていない場合はメモリーを増設してください。 ・ 複数のアプリケーションソフトや不要な常駐ソフトが起動している場合は、終了させてください。
	複合機本体	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。
		用紙はセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。
		ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジはセットされていますか？	ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを正しくセットしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	ネットワーク設定を正しく行ってください (1-3 ページ参照)。
文書がプリントできない。	ネットワーク周辺機器 (LAN ハブ、ルーターなど)	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。
		LAN ケーブルが外れていませんか？	LAN ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。
		LAN ケーブルが破損していませんか？	LAN ケーブルを交換してください。
		ネットワーク周辺機器が破損していませんか？	機器の他のポートに LAN ケーブルを接続し、正常に動作するか確認してください。動作しない場合は、機器を交換してください。
		ネットワーク設定が間違っていますか？	機器の取扱説明書を参照し、ネットワーク設定を正しく行ってください。

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
アプリケーションソフトで作成した文書がプリントできない。	コンピューター	『KONICA MINOLTA 1341f』はインストールされていますか？	インストールされていないと、アプリケーションソフトで作成した文書はプリントできません。『KONICA MINOLTA 1341f』をインストールしてください。
		『KONICA MINOLTA 1341f』は選択されていますか？	アプリケーションソフトの印刷メニューから、使用するプリンターを『KONICA MINOLTA 1341f』に設定してください。
特定のアプリケーションソフトで作成した文書が正しくプリントできない。	コンピューター	アプリケーションソフトで設定した記録紙サイズや用紙の向きなどが優先されていませんか？	プリンタードライバースでの設定よりアプリケーションソフトでの設定が優先されてプリントされる場合があります。アプリケーションソフト側を正しく設定してください。
		印刷に必要なメモリーが不足していませんか？	複数部数で印刷されている場合は、1部で確認してください。
		印刷に必要なメモリーが不足していませんか？	画像の解像度を低く設定してください。画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
文書が正しくプリントできない。	コンピューター	プリンタードライバースプールの設定が間違っていないですか？	プリンタードライバースプールのデータ形式を“EMFモード”から、“RAWモード”に変更してください。
プリンタードライバー上で項目が選択できない。	コンピューター	—	機能によっては組み合わせできない場合があります。グレー表示の部分は設定できません。
Microsoft Excelの作業グループ化した文書が正しくプリントできない。	コンピューター	Microsoft Excelの各ワークシートが同じ“ページ設定”およびプリンタードライバースの設定になっていますか？	Microsoft Excelにおいて、ワークシートを作業グループ化して印刷する場合には、各ワークシートに同じ“ページ設定”および“プリンタードライバースの設定”を行ってください。

『KONICA MINOLTA インフォモニター』でのトラブル

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
新着文書があっても通知されない。	コンピュ ーター	『Is+Plus2 インフォモニター』は起動していますか？	『KONICA MINOLTA インフォモニター』が起動していないと、新着文書の通知は行われません。『Is+Plus2 インフォモニター』を起動させてください。
		IP アドレスが間違っ て入力されて いませんか？	『KONICA MINOLTA インフォモニター』の“Is+Plus2 設定”ダイアログで、『Information server +Plus II』と同じアドレスを入力してください。 なお、IP アドレスを変更した場合は、『KONICA MINOLTA インフォモニター』を再起動してください。
		ユーザーが間違っ て選択されて いませんか？	『Is+Plus2 インフォモニター』の“ユーザー設定”ダイアログで、ユーザーを正しく選択してください。
		新着通知設定は正 しく行われて いますか？	『Is+Plus2 インフォモニター』の“通知画面（サウンド）設定”ダイアログで、通知種別を正しく設定してください。
		ポップアップ表示が OFF に設定 されていま せんか？	『Is+Plus2 インフォモニター』のタスクトレイアイコンを右クリックし、“ポップアップ表示 (P)”がチェックされているか確認してください。
		ウイルススキャン ソフトまたは セキュリティ ソフトの設 定で、『Is+Plus2 インフォモ ニター』の 接続が拒否 されていま せんか？	『Is+Plus2 インフォモニター』のポート番号（60000 番）をウイルススキャンソフト／セキュリティソフトの除外範囲に設定してください。
		ファイアウォール の設定で、『Is+Plus2 インフォモ ニター』の 接続が拒否 されていま せんか？	『Is+Plus2 インフォモニター』のポート番号（60000 番）をファイアウォールの除外範囲に設定してください。
		ブラウザのセキュ リティ設定を 確認してくだ さい。 3-7 ページの「文 書が開かな い」の対応・対 処方法も確 認してくだ さい。	『Is+Plus2 に接続できない』 (3-16 ページ参照)

『KONICA MINOLTA ダウンロードユーティリティ』でのトラブル

3

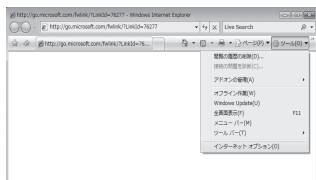
こんなときには

現象	確認する機器	チェックポイント	対応・処理の方法
文書がダウンロードできない。	コンピューター	『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』は起動していますか？	『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』が起動していないと、ダウンロードは行われません。『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』を起動してください。
		IP アドレスが間違っていて入力されていませんか？	『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』の“Is+Plus2 設定”ダイアログで、『Information server +Plus II』と同じアドレスを入力してください。
		ユーザーが間違っていて選択されていませんか？	『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』の“ユーザー設定”ダイアログで、ユーザーを正しく設定してください。
		ダウンロードタスクは作成されていますか？	『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』の“ダウンロードユーティリティ-コンソール”ダイアログで、ダウンロードタスクを作成してください。
		他のコンピューターの『Is+Plus2 ダウンロードユーティリティ』で、文書のダウンロード後に文書を自動削除する設定になっていませんか？	他のコンピューターで、文書のダウンロード後に文書を自動削除する設定を解除してください。

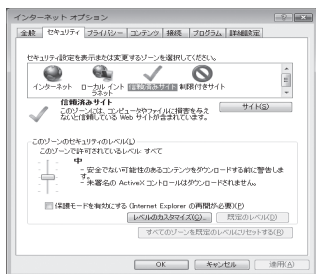
『Is+Plus2 に接続できない』

以下の方法により、ブラウザのセキュリティ設定を変更してください。
(画面は Windows Vista のものです。)

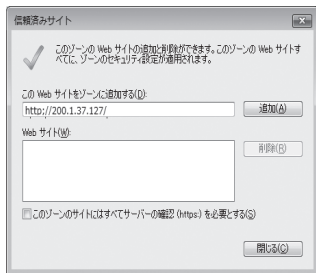
- 1 ブラウザを起動し、メニューバーあるいはツールバーの「ツール」 - 「インターネット オプション」を選択します。



- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、「信頼済みサイト」を選択します。
- 3 [サイト] ボタンをクリックします。

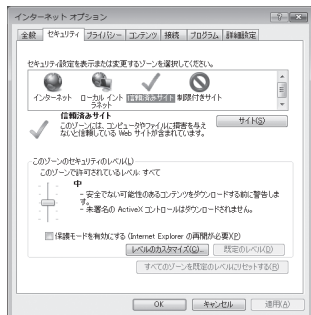


- 4 「この Web サイトをゾーンに追加する」に、お使いのサーバー IP のアドレスを「http://xxx.xxx.xxx.xxx」のように入力します。
- 5 「このゾーンのサイトはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外し、[追加] ボタンをクリックします。

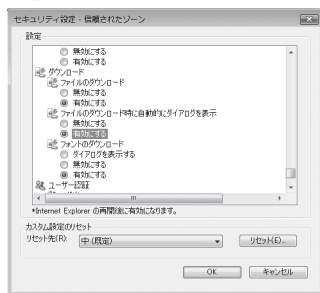


- 6 [閉じる] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

7 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。



8 ダウンロードの「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にします。



9 [OK] ボタンをクリックします。

10 「このゾーンの設定を変更しますか？」のダイアログが表示されるので [はい (Y)] ボタンをクリックします。



11 [OK] ボタンをクリックします。

12 Internet Explorer を再起動します。



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号